

## 事項二 國際連盟理事増員問題

一三 一月二十七日

幣原外務大臣ヨリ  
在仏國石井大使宛（電報）

ボーランドノ常任理事選任ニ関シ伊國大使ヨ

リ打診ノ件

付記一 最近常任理事被選ノ希望ヲ申出テタル国及ビ  
之ニ対スル我方ノ態度

二 大正十四年十二月三十日在仏國石井大使ヨリ

幣原外務大臣宛機密公信本公第四三号

連盟理事会増員問題ノ経緯報告ノ件

第一七号

伊太利大使ヨリ本国政府ノ訓令ニ依ル趣ヲ以テ伊國ハ在伊

波蘭公使ノ申出ニ係ル波蘭ノ連盟常任理事選任ニ関スル希望ヲ大体支持スル方針ナルカ本件ニ関スル帝国政府ノ意向

國名

申出ノ時期

政府ノ回答

備

考

西班牙

(1) 一九二四年八月

日本政府ハ主義トシテ常任理事増員ニハ

不賛成ノ方針ヲ執り來リタリ

二、尤モ他ノ常任理事タル英仏伊カ増員ニ異議

ナクハ西國ノ希望ニ対シテモ好意的考慮

ヲ加フヘキコト

(2) 同年十月

曩ノ意見ヲ変更セサルコト

（付記一）  
最近常任理事被選ノ希望ヲ申出テタル国及ビニ対スル我方ノ態度ヲ承知シタキ旨申出テタルニ付キ一月二十六日同大使ニ対シ  
シ帝國政府ハ波蘭ノ申出ニ対シ主義上異存ナキモノ数日前  
「ブラジル」ヨリ同様ノ申出アリ好意的考慮ヲ加フルコト  
ヲ約シ居ル關係モアリ先ツ以テ「ブラジル」ノ希望ニ対シ  
考慮ヲ加フルコト致度旨答へ置キタリ  
伊太利、波蘭ニ参考トシテ郵報シ「ブラジル」ヘ転電スル  
ト同時ニ田付大使ノ裁量ニ依リ本件適宜「ブラジル」政府  
ニ内報シ差支ナキ旨申添ヘラレ度シ

二、土耳其

一九二五年七月

一、独逸以外ニ常任理事ヲ増加スルコトハ実行困難ナリ

二、仮ニ増スコトトナルモ「ブラジル」カ之ニ当ラントスヘク同國ノ希望ハ至當ナルコト

三、土國ニ対シテハ其ノ選任ヲ妨クル意思ハ有セサルコト

一、伯ノ希望支持ヲ辞セサル積ナルモ他ニモ競争者アリ同國ノ希望実現ハ予測シ難キコト

二、伯ノ第二段ノ希望タル米ノ連盟加入迄常任理事國タラントスル点ニ付テハ規定ノ上疑義アルヤモ知レス何レニスルモ具体的問題ニ付テハ我連盟代表者ニ一任スヘキコト

三、大体方針トシテ伯ノ希望ニ好意的考慮ヲ加フルコト

常任理事タルヘキコトヲ指摘シ西班牙モ此ノ機會ニ其ノ希望ヲ達シ度旨ヲ述ヘタリ  
土耳其ハ未タ連盟ニ加入セス四、波蘭  
一九二六年一月

(2) 同年九月

日本ハ主義上異存ナキモノ数月前「ブラジル」ノ申出ニ対シ好意的考慮ヲ加フルコトヲ約シ

伯國大使ハ同國ノ希望ニ関シ諸種ノ論拠ヲ掲ケタル長文ノ覚書ヲ提出シタリ  
大臣ハ第六回總会ノ我全權ニ対シ帝國カ伯國ニ有スル利害ニ鑑ミ伯國ノ希望支持方ヲ声明シ又ハ之カ達成方ヲ斡旋シテ然ルヘキ好機アラハ全權ノ裁量ニ依リ右措置方ヲ訓令セリ  
在邦伊國大使ヨリ申出テ來レリ伊太利ハ大體波蘭ノ希望ヲ支持スル方針ノ由

居ル關係モアリ先ツ「ブラジル」ノ方ヲ考慮 上記回答ノ趣旨ハ田付大使ヨリ「ブラジル」

政府ニ内報セリ

(付 記二)

大正十四年十二月三十日在仏國石井大使ヨリ幣原外務大臣宛  
連盟理事会増員問題ノ經緯報告ノ件

機密公信連本公第四三号 (大正十五年二月九日接受)

大正十四年十二月三十日

在巴里

國際連盟理事会ニ於ケル帝國代表者

特命全權大使子爵 石井 菊次郎 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

連盟理事会増員問題ニ關スル件

獨逸カ連盟加入ノ上ハ常任理事国タルヘキコト現在理事国一同ノ同意ヲ経タルコトナレハ來ル三月獨逸加入ノ為臨時總会ヲ開クトセハ理事会ハ同時ニ獨逸ヲ常任理事国タランメントノ全会一致ノ決議ヲ為シ之ヲ規約第四条ニ依ツテ臨時總会ノ議ニ付スヘク臨時總会モ多分ハ多數ヲ以テ之ヲ通過スヘシト思ハル其ノ場合ニ常任理事国増員ノ機会ヲ捉へ新タニ(常任理事国タランコトヲ欲シ候補者トシテ名乗リ

アリ理事ニモ交迭少ナカラサルカ為メ今ハ實際之ヲ詳知スル者本使ト事務總長ノミニナリ故ニ他ノ理事ハ既往ノ行懸リニ頓着ナク勝手ナル提議ヲナスコト想像セラル今日ノ所新聞其他風聞ニ依レハ波蘭ハ理事会ノ問題ノ多數カ波蘭事項ニ属スルノ理由ヲ以テ獨逸カ常任理事国トシテ理事会ニ列席スル以上波蘭セ之ト同様ノ地位ニ置カルルニアラスンハ波蘭ハ忍ヒ能ハサル苦境ニ陥ルヘシトノ理由ヲ以テ常任理事国ノ候補ヲ打出ス算段ニテ之ニ付テハ既ニ仏國ノ賛成ヲ得タリト称セラル次ニ西班牙及伯刺西爾カ常任理事国タラントスル希望ヲ懷キ居リ幾度カ我カ政府ニ近寄リタルコト御承知ノ通リナルカ就中西班牙ハ過般ノ「モスール」問題ニ付徹頭徹尾英國ノ為ニ尽力シタル表面ノ理由ハ「モロッコ」問題ヨリ来るヘキモノト称シ得ヘキモ其ノ底意ハ此ノ行動ニ依リテ從来其ノ野心徹底ノ前ニ横タハル障害ノ重点タリシ英國ヲ軟化セシメントスルニ在リシコトト推セラル節アリ伯刺西爾ノ提議ナルモノハ米國ノ連盟ニ加入スル迄ノ間常任理事国タラムトスルニアレハ往年決定ノ主義ニ照ラスモ常任ト非常任間ノ權衡ヲ破ルノ憂ナク從テ理事會ノ将来ニ及ホスヘキ不利益少キ証ナレハ事實伯刺西爾、

西班牙間ノ競争ハ激甚トナルヘシ  
以上三箇國中波蘭ノ主張ハ他ニモ反対起ルヘク到底通過ノ望ナキモノトシテ看過シ得ヘキモ西伯兩國ノ競争ニ付テハ本使ノ邪推カハ知ラサルモ恐ラク西國ノ主張ノ比較的薄弱ナルニ拘ラス却テ有利ノ地位ニ立ツニ至ルヘキコト思ハル即英國ニシテ從來ノ主張ヲ棄テテ西國ヲ常任理事国トスルニ賛成スル以上ハ目下「モロッコ」戦争ニ於テ同盟國タル仏國ハ西國ニ反対セサルヘキハ明カナリ而シテ英仏相携ヘテ西班牙側ニ立タハ他ハ之ニ雷同スヘク事茲ニ至ラハ本使モ亦大勢順応ニ出テサルヲ得サルヘシ何トナレハ本使一個ノ反対ニヨリテ西國ノ主張カ破レタリトセハ西班牙ハ将来我ニ向ツテ深怨ヲ抱キ事々ニ日本反対ノ態度ニ出ツヘク然カモ彼カ中米及南米諸國ニ對スル勢力案外ニ偉大ナルニ想到スレハ右西班牙ノ反対ハ成ルヘク之ヲ避ケサルヘカラサルカ故ナリ常任理事国増員ヲ避ケルノ態度ハ來ル臨時總会及理事會ニ於テ本使ノ努ムヘキハ勿論ナルモ若シ不幸ニシテ本使推案ノ如ク西國ノ候補カ他ノ常任理事国ノ同意ヲ得タル暁ハ本使モ状況ニ鑑ミ遂ニハ之ヲ同意シテ可ナルヤ否ヤニ付御訓電ヲ仰ク

非常任理事国増員ノ件ハ往年ノ決議ニ鑑ミ何等ノ理由ナキコトナレハ之ニ反対シテ然ルヘキ儀ト存セラル然カモ同時ニ先シテ反対ノ意ヲ表シ為ニ小国側ノ矢表ニ立ツカ如キコトヲ避クヘキハ勿論ニ付反対ノ御訓電ナキ場合ハ本使ニ於テ臨機措弁スヘシ

以上卑見申上ク

一四 二月十五日(着) 在ベルギー国安達大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ボーランド等ノ常任理事選任ニ對スルベルギ

一外相ノ意向報告ノ件

第二二号

十三日外務大臣ニ面会シタルニ先日独逸政府カ正式ニ國際連盟ニ加入ノ請求ヲ提出シタル際瑞典政府ヨリ波蘭西班牙等ノ連盟理事会ニ永久的議席ヲ得ントスル要望ニ付内々当國政府ノ意見ヲ求メタルニ依リ此ノ際独逸以外ニ斯ル地位ヲ与フルハ連盟ノ發達ニ害アルヲ以テ絶対ニ反対ナル旨ヲ答ヘタルニ瑞典政府ニ於テモ全然同感ノ旨ヲ通知シ来レリ然ルニ仏國政府ハ波蘭ハ勿論西班牙ニモ永久的議席ヲ与ヘンコトヲ画策シツツアルコトヲ伝聞シタルニ付去ル十日巴

ルニ過キス大勢ヨリ考フルニ結局独逸モ新ニ常任理事国タルコトニ落付クナラント思ハルト内話セリ  
英伊ニ暗送セリ

一五 二月十六日(着) 在スウェーデン國永井公使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ボーランド等ノ常任理事昇任問題ニ關シスウ  
エーデン政府ノ態度報告ノ件

第九号

波蘭、西班牙及伯刺西爾ノ常任理事国昇格問題ニ關シ瑞典政府ハ最後迄反対ノ意向ナル旨新聞紙ニ伝ヘラレ當國輿論亦此態度ヲ是認スルニ領ケリ依テ外務省係員ニ付其トナク其真偽ヲ質シタルニ前記各國ハ互ニ協力シテ其目的ヲ貫徹セント努メ「ブリアン」ハ既ニ承諾ヲ与ヘ(脱)英國ノ同意ヲ取付ケントシツツアリ而シテ「チャムバレン」カ先般「モツスール」問題ニ關シ全然英國ノ要求ヲ支持シタル代償トシテ「キノネスズレラン」ニ常任理事国昇格ヲ約束シタリ「ベネス」カ波蘭ノ要求ニ正面反対セサレトモ胸中決シテ之ヲ喜ハス白耳義力反対ナルモ仏國トノ關係上最後迄此主張ヲ貫徹シ得ルヤ疑ハ瑞典國政府トシテハ國際連盟

里ニ赴キ「ブリアン」氏ト懇談シタル處同氏ハ熱心ニ右両國ノ要望ヲ支持シ殊ニ今後數年間理事会ノ主ナル問題ハ獨逸波蘭間ノ紛議ナルヘキニ付波蘭カ常任理事國タルヲ必要スト固執シタルモ右ニ關シテハ「ロカルノ」條約中ニモ特ニ各種ノ紛議ニ關シテハ波蘭ハ獨逸ト對等ノ地位ニ立チ理事会ノ議ニ加ハルコトヲ規定シアリ「ブリアン」氏ノ論拠薄弱ナルヲ指摘シ置ケトモ同國ハ曩ニ獨逸カ常任理事國タルニ異議ナキ旨ヲ明言シタル關係上今更右ノ如キ國際的背徳ヲ實行スル能ハサルヘシ又英国外相ハ先日「ブリアン」氏ニ面会ノ節同氏ノ熱心ナル主義ニ捲カレ好意的態度ヲ示シタル由ナルカ當方ヨリ在英白耳義大使ヲ經テ交渉シタル結果ニ依レハ「チエンバレン」氏モ全然自分ト同意見ニシテ昨今折角其ノ意見ヲ支持スヘキ材料ヲ集メツツアリ次ニ伯刺西爾ノ主張ニ關シテハ「ブリアン」氏モ冷淡ニシテ南米三大國ノ一カ交ル交ル理事会ニ議席ヲ有スルコトトテモ取計ハレ間敷クヤト云ヒタルノミナリ白耳義ハ此ノ問題ニ關シ何等ノ野心ナク只タ連盟ノ健全ナル發達ヲ希望ス

ノ根本的組織及其善良ナル機能擁護ノ為メ獨力最後迄反対スルノ決意ヲ有シ此旨ヲ英國、仏國、白耳義政府ニ伝ヘ且同一ノ態度ニ出シ事ヲ慤慮シツツアリ斯ノ如キハ決シテ独立最負ノ結果ニ非スシテ條理ノ指示スル處ニ從ヒ邁進ゼントスルノミ英國新聞ハ一齊ニ常任理事国增加ニ反対ナルカ「チャムバレン」ハ之カ為メ困難ナル立場ニ置カル可シト内話セリ以上御参考迄申進ム  
巴里連盟事務局ヘ転電セリ

石井理事ヨリ  
連盟理事会常任國増員問題ハ目下歐州政界ノ拳ツテ論議スル所ナルカ本問題ノ発案者ト目セラルル仏國內閣ハ當國政府活問題タル財政救済策ニ没頭シ「ブリアン」氏ハ日夜下院ニ論戰シ他事ヲ顧ミルノ邊ナキ為メカ本件ニ關シ當國政府側ヨリハ却テ何等消息ナキ奇觀ヲ呈ス本使ハ此際仏國側ヨ

## 二 國際連盟理事増員問題 一七

一一一

リ依頼ヲ受ケテハ断ルニ面倒ニ付近寄ラサルニ努メツツア  
リ本使ノ觀察スル所ニ依レハ仏國ハ波蘭ノ主張ニ余儀ナク

同國ヲ常任理事国ニ推举スルノ意ヲ決シ兼テ西班牙伯刺西  
爾ノ宿望ヲ迎ヘテ好意ヲ壳ラントスル底意ヨリ本件ヲ案出  
シタルモノナルヘク英国外相カ西班牙ノ候補ヲ内諾セルハ

過日下院ニ於ケル彼力答弁ニ依リ疑ナキニ至レルカ如シ伊

国ハ波蘭ノ候補ヲ援助スル位ナレハ西班牙ハ勿論伯刺西爾

ニモ反対セサルヤニ思ハル斯テ西班牙ノ閔スル限り英仏伊

ハ既ニ同意済ミト見ラルヘキニ付大正十三年閏下発杉村宛

電報第九四号御訓示ノ次第モ之レアリ本使ハ之ニ賛成スル

ノ外ナカルヘシ次テ伯刺西爾ニ付英伊ノ態度明瞭ナラサル

モ西班牙ニ内諾スル以上ハ之レ亦強キ反対ナカルヘク想像

セラル免モ角本使ハ予テノ御訓示ニ依リ大体同意スヘシ残

ルハ波蘭ナルカ之ニ閔シ「チエンバレン」カ「ブリアン」ニ

内諾ヲ与ヘタリトノ新聞ノ評判ハ実否確カナラス伊國カ之

ヲ援助スルハ必ス何レカニ報酬ヲ期スルモノナルヘク論ス  
ルニ足ラス本件ハ如何ニモ理由薄弱ナルノミナラス連盟ノ

将来ニ悪例ヲ残ス惧アルニ付本使ハ之ニ反対シ他ノ理事悉

ク提案ニ同意シ本使孤立「ユナニミティ」ヲ破ル最後ノ場

シ独逸ニ於テハ威嚴ノ問題トモナリ由々シキ大事ニシテ殊  
ニ國論ノ沸騰ニ鑑ミ極メテ重大ナル時局ヲ見ル可シト前提

シ本使ノ意見ヲ求メタルニ付本使ハ此新問題ニ付未タ政府

ノ訓令ニ接セス私見トシテハ理事会会員カ不当ニ増員シ討

論俱樂部トナラサル様注意スルニアラサレハ連盟ノ将来ニ

禍ヲ起ス可キカ故ニ此点ハ本使ノ特ニ懸念スル所ナルモ未

タ同僚誰トモ意見交換ヲナササルニ付問題カ如何ニ発現ス

ヘキヤニ付確タル報道ヲ有セスト答ヘタルニ独逸大使ハ政

府ノ命ニ依リ前述ノ趣旨ヲ以テ「ブリアン」及「ベルトロ

ー」ト交渉セルモ仏國政府ハ已ニ来ル理事会ニ波蘭ノミナ

ラス西班牙、伯刺西爾ヲモ持チ出スニ決シタルカ如シト述

ヘ且仏國当局ノ考ニテハ恐クハ三月八日午前中ノ理事会ニ

トルニ非スヤト推セラルトテ憤怒ノ色ヲ示シ独逸ノ連盟

加入撤回ト迄公言セサリシモ言外ニ其意ヲ洩ラシタリ

在英、白、独、伊各大使、在西、瑞典、波蘭各公使、在

米、伯各大使ヘ転電セリ

(付記)

國際連盟理事會常任理事增員問題ニ關シ独逸大使來話ノ件

二 國際連盟理事增員問題 一七

合ニ到ラサレハ同意ヲ与ヘサルノ態度ニ出スルコト連盟ニ  
於ケル帝国ノ威信ヲ高ムル所以ト存ス

尚ホ以上ハ大勢力常任理事増員ニ傾キ已ムナキ場合ニ対ス  
ル態度ニシテ先ツ以テ理事会組織ノ拡大ハ成ルヘク避ケ度  
キ帝國政府從來ノ御方針ヲ以テ進ムヘキ儀ト心得然ルヘキ

ヤ重ネテ御訓示ヲ仰ク

英、獨、伊、白、西、波、米、伯ヘ転電セリ

一七 二月十八日(着) 在パリ杉村連盟事務局次長ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ドイツハ常任理事増員ニ反対ナル旨ノ駐仏ド

イツ大使ノ談話報告ノ件  
付記 國際連盟理事會常任理事増員問題ニ關シドイツ  
大使來訪ノ件

連第四七号

石井理事ヨリ

十七日独逸大使來訪近頃新聞ニ喧伝セラル連盟理事会常  
任理事増員ノ件ニ閔シ独逸政府ハ若シ之カ独逸ノ連盟及理  
事会加入前ニ決セラレ即チ独逸ノ参加前ニ事実トナルニ於  
テハ「ロカルノ」以来ノ独逸ノ了解ニ反シ信義ノ問題ヲ起

大正十五年二月二十日独逸大使出淵次官(大臣多忙ノ為)  
來訪  
Japan Advertiserノ記事ニヨレハ日本政府ハ國際連盟常  
任理事増員ニ反対ナル趣ナルトコロ果シテ右様心得可然ヤ  
ト尋ネタルニ付次官ヨリ日本政府ハ從來主義上ノ問題トシ  
テハ常任理事ノ増員ニ不同意ノ態度ヲ持シ來レリ右方針ハ  
今尚変更スルトコロ無之モ右ハ所謂大體ノ方針ニシテ他ノ  
主ナル關係諸國ニ於テ悉ク増員ニ賛成スル場合ニ日本一國  
飽ク迄モ之レニ反対セントスル次第ニラス從テ波蘭國ヨ  
リ常任理事ヲ選出スル問題モ關係諸國悉ク之ニ同意スル場  
合ニハ日本モ之レニ反対セサル方針ナリ尚實際問題トシテ  
実ハ數ヶ月前伯刺西爾ヨリ常任理事選任ニ閔シ申出ニ接シ  
タル場合ニ帝國政府ヨリ好意的考慮ヲ加フル旨約束シタル  
行掛アリ又一昨年西班牙國ヨリ同様申出ニ接シタル場合ニ  
モ日本ハ主義上ノ問題トシテハ常任理事増員ニ反対ナルモ  
英仏伊等ノ諸國ニ於テ西班牙ヨリ常任理事選出ニ同意スル  
場合ニハ日本ニ於テ好意的考慮ヲ加フヘキ旨約束ヲナシタ  
ル行掛アリ從テ波蘭ニ對シ独リ反対ヲ主張スルヲ得サル次

第ナリト付言シタリ右ニ対シ独逸大使ハ歐州問題ニ対スル

日本ノ立場及從來執リ來レル方針ハ自分ニ於テ充分承知シ居リ日本カ本件ニ關シ右ノ如キ態度ニ出ツルコトハ蓋シ当然ナルヘシト答ヘ尚新聞ノ報道ニ依レハ独逸國ヨリ常任理事ヲ選出スル問題ハ伯刺西爾、西班牙及波蘭ノ三国ノ分ト同時ニ議セラル模様ナルトコロ独逸トシテハ斯カル *Hans Karl von Bülow* ナル待遇ヲ受クルコトヲ欲セス元來「ロカルノ」會議ニ於テ關係國カ独逸ニ對シ常任理事選任ヲ明白ニ約束シタルニ拘ハラス今ニ至リ他ノ三国ノ問題ト同様ニ独逸問題ヲ議セントスルコトハ甚タ背信ノ行為ニシテ是レ恰モ金一円ヲ賭ケテ「ブリッヂ」*Bridge* ラナス約束ヲ為シ乍ラ「ゲーム」中ニ俄ニ五円ヲ賭ケンコトヲ主張スルト同一ナル次第ナルヲ以テ独逸トシテハ結局斯カル待遇ヲ甘受シ得サルヘシト信スルトコロ万々獨逸ノ問題カ他ノ三国ノ問題ト一併シテ提議セラレタル場合日本ハ如何ナル態度ニ出テラルヘキヤト尋ネタルニ付次官ヨリ卒直ニ云ヘハ独逸カ他ノ三国ト同様ノ取扱ヲ受クヘキモノナリヤ否ヤハ要スルニ独逸ノ決心一ツニ依リ決セラルヘシト思考ス日本ハ「ロカルノ」會議ニ参加セサル為メ當時關係國ニ於テ独逸ニ對シ如何ナル約束ヲ与ヘタルヤ明白ニ承知セサルモ独逸政府ニ於テ独逸ヨ

リ常任理事ヲ選任スルコトヲ先決問題トナスコトニ付確実ナル約束ヲ取り付ケアリトノ確信アラハ飽ク迄右約束ノ履行ヲ迫リ得ル次第ナラスヤト告ケタルニ独逸大使ハ正ニ貴サルモ若シモ關係諸國ニ於テ背信的態度ニ出テ飽ク迄三国並ニ独逸ヲ取扱ハントスル次第ナラハ独逸ニ於テ國際連盟加入申込ヲ撤回スルニ至ルヘキハ必然ノ數ナルヘシ果シテ右ノ如キ場合トモナラハ「ロカルノ」會議ノ効果モ根底ヨリ破壊セラレ容易ナラサル不安ノ空氣再ヒ歐州ニ漲ルニ至ルヘシト述ヘ尚本日貴官ト談話ノ次第ハ充分注意シテ本国政府ニ報告スヘシト語リタルニ付次官ヨリ帝国政府ハ主義上常任理事増員ニ不同意ナルモ實際問題トシテ伯刺西爾、西班牙同様波蘭ヨリモ常任理事ヲ選出スルノ議起リタル場合ニ重ナル關係諸國ニ於テ之ニ同意スルトキハ日本ニ於テモ之ニ同意スルノ外ナク右ハ帝国政府ノ大体方針ト御承知相成差支ナキ旨告ケ置キタリ

一九 二月十九日(着) 在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
英國ノ世論ハ常任理事増員ニ反対ナル旨報告

一八 二月十九日(着) 在伊國落合大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
伊國ガボーランドノ常任理事國希望ヲ贊助セ

## ル事情ニツキ報告ノ件

## 第三三号

仏發往電連第四五号ニ關シ伊國カ波蘭ノ常任理事國希望ヲ贊助セルハ何等具体的の報酬ノ目的アリテノ事ナリヤ當面ノ事情ハ突キ留メ得サルモ嘗テ仏國カ波蘭ト大使ヲ交換スルコトト為シタル節伊國モ同様ノ措置ニ出テントスルノ意向アリシカ英國カ強硬ニ反対シ本件モ其儘トナリ居レル旨内々聞キ込ミタル事アリ尚過般大使公使ノ待遇區別ノ問題ニ関シ本使カ筆頭大使トシテ二三同僚ト会談ノ機會ニ得タル印象ニ依レハ戰後連合諸國カ白耳義ヲ始メトシ新ニ數多ノ國ト大使交換ヲ承諾シ遂ニ英仏伊カ夫々葡萄牙波蘭南米等ニ迄及ホシ一方土耳其ノ如キニ對シテモ依然大使ヲ認メ居レル事カ之等諸國ニ比シテ優等ナリト自信セル歐洲諸國ノ神經ヲ刺激スル事甚タシク遂ニ御承知ノ如キ公使團ノ要求トナリテ現レタル模様アル次第二付今回ノ常任理事國增加問題ニ付テモ此辺ノ事情ハ充分考慮セラルコト可然ト思考ス

英仏ニ転電シ獨白ニ暗送セリ

考ス

## 二 國際連盟理事増員問題 二〇

二六

二〇 二月十九日 幣原外務大臣ヨリ 在パリ杉村連盟事務局次長宛 (電報)

常任理事増員問題ニ対スル我方ノ方針ニツ

干訓令ノ件

付記一 國際連盟理事会常任理事選任ニ関シ二月十七日ボーランド公使來話ノ件

二 同件ニ関シ二月二十三日ボーランド公使來話ノ件

連第四五号ニ関シ  
第一八号

石井理事へ

貴電末段御来示ノ通政府ハ理理事会ヲシテ敏活且適切ニ其ノ本来ノ機能ヲ發揮セシメムカ為此際理事ノ増員ハ望マシカラスト認メ居ルニ付貴官ハ最初ノ機会ニ於テ右政府ノ方針ヲ宣明セラルト同時ニ之カ為帝国ノ将来ニ取リテ好感ヲ繫キ置クノ必要アル數国ノ怨ヲ買フコトヲ避ケル用意トシテ他ノ諸国カ挙ケテ常任理事ノ増員ヲ主張スル場合ハ飽迄自説ヲ固執スル次第ニハ非サル旨適宜敷衍説述セラレ先ツ増員ノ件ヲ主義ノ問題トシテ解決スルニ努メラレタシ尤モ大勢力増員ニ傾キタル場合ニ於テハ更ニ本邦トシテハ

(付記一)

國際連盟理事会常任理事選任ニ関シ二月十七日ボーランド公使來話ノ件

大正十五年二月十七日波蘭公使出淵次官來訪波蘭國ヨリ國際連盟理事会常任理事ヲ選任スルコトニ付日本國政府ノ同意取付方訓令ニ接シタル趣ヲ述ヘ本国政府ノ通報ニ依レハ本件ニ就キ既ニ伊国「ムソリニ」首相ハ快ク同意シ積極的援助ヲ約束シ仏國首相「ブリアン」氏モ快諾シ尚英国外相「チュムバーレン」氏ハ個人トシテ同意ノ模様ナルモ未タ閨僚トノ間ニ意見ノ一致ヲ見ルニ至ラス從テ本国政府ニ於テハ日本ノ同意ニ重キヲ置ク次第ナリ若シ波蘭ニシテ此機

会ニ常任理事ノ地位ヲ得サルニ於テハ独逸ニ於テ近ク連盟ニ加入シ常任理事ノ地位ヲ得タルヤ将来常ニ独逸ノ反対ニ依リ未來永久其目的ヲ達成スルノ望ナキニ至ルヘキト同時ニ日本國ノ立場ヨリ見ルニ此際波蘭ヨリ常任理事ヲ選任シ置クトキハ他日露國カ國際連盟ニ加入セル場合好都合ナルヘシト述ヘ最後ニ「チエツコ・スロヴァキア」ハ已ニ小協商國ヲ代表シ波蘭ノ常任理事タルコトニ同意ヲ表シ居リ尚伯刺西爾トノ間ニモ既ニ了解アル趣ヲ述ヘタリ右ニ対シ次官ヨリ前回モ申述ヘ置キタル通リ日本ハ伯刺西爾國ヨリ常任理事ヲ選任シタシトノ希望ニ対シ好意的考慮ヲ加フルコトヲ約束シタル關係アリ右約束ヲ無視シテ此際單ニ波蘭ノ申出ノミヲ考慮シ得サル立場ニ在リ尤モ波蘭ヨリ常任理事ヲコトニ付主義上異存アル次第ニアラサルヲ以テ愈々問題起リタル場合ニハ伯刺西爾ノ申出ト併セ好意的考慮ヲ払フコトトスヘシ何レ委曲外務大臣ニ報告シタル上何分ノ儀電話ヲ以テ確認スルコトトスヘキ旨答ヘ置キタリ

(付記一)

同件ニ關シ二月二十三日ボーランド公使來話ノ件

大正十五年二月二十三日波蘭公使出淵次官來訪最近在京西班牙公使館書記官「アルナオ」ヨリ内聞シタルトコロニ依

從來連盟各種機關ノ構成ニ関シ連盟國ノ地理的地位及文化ノ系統等ヲ標準トシ右機關ノ「メンバー」ヲ連盟國間ニ成ルヘク公平ニ分配スルノ原則ニ重キヲ置クカ故ニ先ツ以テ「ブラジル」ヲ推薦スルコトトシ度ク将又西班牙ニ関シテハ大正十三年往電第九四号ノ行掛モアリ貴見ノ通り措置セラレ差支ナシ次ニ波蘭ニ付テハ主トシテ歐州ニ関スル問題ナリトノ見地ヨリ利害關係ヲ有スル諸國ノ解決ニ委ネ我ヨリ進ンテ反対ノ態度ニ出テサル様致度シ

「ブラジル」ヲ推薦スルコトトシ度ク将又西班牙ニ関シテハ大正十三年往電第九四号ノ行掛モアリ貴見ノ通り措置セラレ差支ナシ次ニ波蘭ニ付テハ主トシテ歐州ニ関スル問題ナリトノ見地ヨリ利害關係ヲ有スル諸國ノ解決ニ委ネ我ヨリ進ンテ反対ノ態度ニ出テサル様致度シ

a very strong case ト言ヒタルコトヲ承知シ居ル旨ヲ語リタルニ徵シ英国外務省ノ閣スル限り波蘭ニ対シ好意的援助ヲ与フルコト明カナリ〔〕「ロカルノ」条約ニ於テ仏蘭西ト独逸ノ国境ハ「ベルサイユ」条約ノ規定ニ従フヘキコトヲ重ネテ明カニ規定シタルニモ拘ハラス波蘭ト独逸トノ国境ニ付キテハ單ニ漠然タル言ヒ表ハシ方ヲナシ居リ結局波蘭ハ「ロカルノ」會議ニ於テ余リ満足ナル結果ヲ得サリシヲ以テ「チエンバーレン」外相ハ特ニ波蘭ニ同情ヲ払フ次第ナルヘシト述ヘ次テ独逸ノ復興ト從来露西亞ニ於ケル独逸ノ勢力トニ顧ミ将来露獨両國ハ必ス提携シテ世界ノ一大勢力トナルヘク元來歐州戦争前ニ露仏同盟ヲ結ヒタルナリシ為メ大戦半ハニシテ「ブレスト・リトイスク」条約ニヨリ遂ニ露西亞ハ連合國ヲ壳リタル次第ナリ今日ニ於テハ露獨ノ間ニ波蘭ナル新興國現ハレタル為メ始メテ仏蘭西ハ独逸ニ備フル為メ波蘭ナル相手国ヲ得ルコトトナリ此

ノ兩者ノ関係ハ頗ル親善ナルモノアリ将来独逸ニシテ再ヒ仏蘭西ヲ侵スカ如キコトアラハ波蘭ハ直ニ立テ独逸ニ攻メ入り互ニ相助ケ合フコト必然ノ勢ナリ仏蘭西カ今回ノ増員問題ニ付キ熱心ニ波蘭ヲ支持スルコトハ蓋シ此等ノ政治的原因ニ胚胎シ居ル次第ナリ之ヲ日本ノ立場ヨリ考フルニ日露両国国交恢復シタリトスルモ両國将来ノ関係ハ必スシモ良好円満ニノミ進ムヘシトハ思ハレス否滿州ニ対スル相互ノ発展計画ヨリ端ヲ發シ此ノ両国カ再ヒ相争フカ如キ場合アルヘキハ予想ニ難カラス而モ露獨相提携ノ可能性アリトセハ其ノ間ニ介在スル波蘭カ往年日露戦争ノ場合ニ於ケルカ如キ熱狂的同情ヲ日本ニ注クヤ否ヤハ日本ニ取り盡シ相当要ナル関係アルヘシ波蘭ハ小国ナリト雖モ約三千万リ波蘭ハ或ハ何等価値ナキ国ナルヤモ知レサルモ而モ数年後国際関係ノ変局ニ際シ日本ニ於テ波蘭ノ同情ニ大イニ期待スル場合アルヘシト信ス波蘭ハ小国ナリト雖モ約三千万ノ人口ヲ有ス而シテ其ノ三千万人ノ九割ハ「カトリック」教徒ニシテ宗教ヲ基礎トスル民族ノ統一ハ相當強固ナルモノアリ嘗テ數年ノ間「ソヴィエト」ノ為メ容易ナラサル迫害ヲ受ケ而モ一九一〇年恰モ自己ノ外務大臣タリシ際「ソ

ヴィエト」軍ハ大挙シテ「ワルソウ」ヲ囲ミ自分ハ「ヴィ

チラ」河ニ響ク砲声ヲ耳ニシ日夜痛心措カサリシカ當時僅カ百名内外ノ仏國軍人ノ援助アリタルノミニテ英國ノ如キハ波蘭ノ國難ニ対シ生温キ態度ニ出テ居リタルニモ拘ラス

遂ニ「ソヴィエト」軍ヲ擊退シ兎モ角モ今日ノ國運ヲ作りタル実力ハ認識セラルヘキモノト思考ス實際波蘭ノ立場ヨリセハ「ダンチヒ」ヲ結ヒ付ケル廊下ハ何時ニテモ独逸ノ

為メニ破壊セラル從テ其ノ國運ノ将来ニ就テハ常ニ心配措

ク能ハサル次第ナリ之レ独逸カ常任理事ノ地位ヲ取ルニカリ少クモ同時ニ同様ノ地位ヲ得ル為力ヲ致シ置クノ必要ヲ痛感スル次第ナルヲ以テ日本政府ニ於テ飽ク迄好意的態度ヲ以テ波蘭ノ立場ヲ支持セラレンコトヲ希望ス本日ハ自分ハ我力子ノ大病ニ際シ取ル物モ取り敢ヘス医者ノ許ニ駆リタルカ如キ氣分ヲ以テ參上シタル次第ナルニ付是非共好意的考慮ヲ得タク尚貴官ヨリノ御伝達ニテ自分來訪ノ次第ハ遺憾ナク幣原大臣ニ通スヘシト確信スルモ波蘭ニ取り真ニ一大事ニ付キ明日カ明後日中ニ十分ニテモ二十分ニテモ結構ニ付キ幣原大臣ニ面会ヲ願ヒタキニ付可然執成ヲ乞フ旨ヲ述ヘ引キ取リタリ

二 國際連盟理事増員問題 二三 二三

三〇

方ナレハ我政府ハ從來通り快ク貴國ヲ援助スルナラント確  
信スト付言セリ公使ハ未タ何レヘモ交渉ヲ開カサレハ改メ  
テ政府ノ注意ヲ惹キ運動中止ニ努ムヘシト述へ引取レリ  
英、白、独、伊、西、瑞典、波蘭、米、伯ヘ転電セリ在支  
公使ヘ転電アリタシ

二二 二月二十二日

在ブラジル國田付大使ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

連盟ノ常任理事増員ニ對スルブラジルノ態度

二閔シ同國外相トノ会談要領報告ノ件

第一五号

往電第一三号外務大臣來翰ニ於テ会談ノ希望ヲ述へ来タリ

タルニ依リ二十日同大臣ヲ私邸ニ往訪会談要領左ノ通リ

(一) 独逸カ常任理事ヲ増員問題ニ先タチ自國ノ常任理事加入

ヲ先決問題トスルハ甚タ不当ナリ伯国ハ先ツ常任理事増

員問題ヲ決シタル後初メテ独逸ノ常任理事問題ヲ議スヘ  
シトナスモノナリ此点ニ関スル日本政府ノ意見ヲ聞ク事  
ヲ得ハ幸甚ナリ

(二) 波蘭西班牙両国常任理事希望ノ件ハ之ヲ認容スルニ於テ  
原則トシテ異議ナシ但会議ノ大勢ニ順応スヘシ

(三) 伯国ハ其位置歐州ノ政治舞台ヨリ遠去カリ居リ其政治圏

外ニ超越シ比較的公平ナル判断ヲ下シ得ル地位ニ在リ從

ツテ日本ト容易ニ歩調ヲ共ニスル事ヲ得ヘキモノナリト

信ス就テハ帝国政府ヨリ其代表者ニ意ヲ伝ヘテ伯国代表

者ト隔意ナキ意見ノ交換ヲナサシメラル様切望ニ堪ヘ

スト

前記第一項帝國政府ノ御意見御差支ナキ限り御回示ヲ請

フ

石井理事ヘ転電済ミ

二三 二月二十四日

在ブラジル國田付大使ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

連盟ノ常任理事増員ニ閔スル応答方訓令ノ件

第二〇号

貴電第一五号ニ閔シ

(一) ノ点ニ付テハ今ヨリ我方ノ態度ヲ宣明スルノ要ナシト認  
メラルノミナラス結局ハ理事会ノ情勢ニ応シ適宜処理シ  
度キ所存ナルニ付キ先方ヨリ催促アリタル節ハ右ノ趣旨ニ  
テ可然応答セラレタシ

(三) ノ点ニ閔シ帝國政府ニ於テハ理事会カ増員ニ傾ムク場合  
連第五七号

貴電第一五号ニ閔シ

支那ノ希望ハ実現固ヨリ困難ナルヘキモ熱心懇請ノ次第モ

アルニ付キ來ル理事会ニ於テハ會議ノ情勢ニ応シ適宜支那  
ノ希望取次方可然御取計相成度シ

米伯ヘ転電シ在欧各大使、西、波、瑞典ヘ暗送アリタシ支  
那ヘ転電セリ

二五 二月二十七日（着）

在パリ杉村連盟事務局次長ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

常任理事増員問題ニ閔シ石井理事ヨリ意見具申ノ件

貴電連第五〇号ニ閔シ

石井理事ヘ

二十四日支那公使來訪本國政府ノ訓令ニ依ル趣ヲ以テ独逸

ノ外西伯波三国迄常任理事トナルニ於テハ亞細亞ハ全ク閑  
却セラレ頗ル權衡ヲ失スル次第ナルカ故ニ此際是非共支那

ノ常任理事選任方帝國政府ノ支持ヲ得度キ旨申出テタルニ  
付キ日本ハ主義トシテ増員ニ反対ナルモ理事会ニ於テ大勢

増員ニ決シ前記三国ノ問題ヲ議スルコトトナル場合ハ支那

ノ希望ヲ取次キ其ノ達成ニ尽力スヘキモ余リ期待セサル方  
然ルヘク尤モ非常任ノ方ハ從來ノ通り十分努力スヘキ旨旨  
ヘ置ケリ

ラス早ク仏國及ヒ波蘭ニ對シ約束セルモノカト思ハル蓋シ  
「ロカルノ」ニ於テ独逸カ「ライン」地方ト同様ノ協定ヲ

東部国境ニモ受クルヲ肯セサリシ時波蘭ハ「ロカルノ」条  
約ノ成立ト否トヲ決スル鍵ヲ握リタル訳ナレハ仏ハ勿論英

モ亦大事ノ前ノ小事ト思ヒ常任理事ノ位地ヲ餌トシテ彼ノ  
同意ヲ取リ付ケタリト見ルヲ得ヘシ果シテ然リトセハ三国

候補者中波蘭國最有力者ナルヘク次ハ西班牙ニテ伯刺西爾  
ハ最後ニ來ルナランカステ御訓示ト正反対ナル順序ヲ呈ス

ルヤモ知レス加之之ヲ翻スハ容易ニ非スシテ強テ伯刺西爾  
ヲ先ニセントセハ彼ヨリ得ヘキ感謝ハ他両國ヨリ得ヘキ怨  
嗟ヲ償ハサル結果ニ終ルヲ虞ル故ニ斯ル場合ニ臨機応変ノ  
措置ハ御任セフ請フノ外無シ

因ニ波蘭ハ今回候補ニ失敗セハ西欧ニ断念シテ赤露ニ近寄  
ルヘキ旨新聞ニ表レタルカ本日同國大使モ同様ノ意ヲ仄カ  
セリ右ハ英國ニ当ル底意ナル可ク尤モスル通信ハ仏國ニ悪  
ク受ケラル可キ故カ同政府ハソノ通信ヲ取消セリソノ後ハ  
右失敗ノ場合ニハ總理兼外相ハ辭職スヘシトノ説新聞ニ表  
ハル之ハ英、仏ノ内諾ヲ輕信セル責任有リトスレハ勿論ノ  
帰結ナル可シ

英、白、伊、獨、米、西班牙、波、瑞典、伯ニ転電セリ

二六 二月二十七日(着) 在スペイン國太田公使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

スペインノ常任理事加入問題ニツキ我ガ方ノ  
方針ヲスペイン外相ニ開陳シタル件

第八号 貴電第五号第六号ニ関シ

二十五日外務大臣ニ面会我主義及其依テ来ル所以ヲ説明シ  
タル上西班牙加入ノ具体問題生シタル場合ニ於ケル我存意  
ノ程ヲ然ル可ク開陳シテ皇帝ニ取次方ヲ依頼シ尚右ハ一昨  
年東京ニ於テ西國代理公使ニ回答シアル處ヲ布衍セルニ過  
キサルモ帝国政府ノ好意ニ変動ナキハ特ニ御注意ヲ請ヒ度  
キ次第ナリト付言シタルニ外相ハ委細了得ノ旨ヲ述ヘ且自  
分カ一九二三年「ゼネバ」ノ會議ニ携リタル際モ日本ハ西  
國ノ加入ニ對シ日本カ好意ヲ有スルヲ語ラレタル事アリ今  
更ニ貴公使ヨリ之ヲ聞キ確信ヲ得タルハ幸ナリトテ謝意ヲ  
表シ二十六日皇帝ノ御帰京ヲ待チテ直ニ奏聞スヘシト語ラ  
レタリ

英、仏、獨、伊、瑞典、波蘭、蘭ヘ暗送セリ

二七 二月二十七日 在スペイン國太田公使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

常任理事問題ニ関スルスペイン外相ノ声明ニ

関スル件

第一〇号 (二月二十八日接受)

常任理事問題ニ關スル當国外務大臣ノ声明トシテ二十六日

各新聞ニ現ハレタルモノ大要左ノ如シ

一、来ルヘキ理事会ノ會議事項ハ單ニ独逸ノ常任理事ノ問  
題ノミニ限ルヘキモノト解セス

二、西班牙ノ希望ハ既ニ千九百二十二年ノ理事会ニ於テ研  
究セラレ殆ント全会一致ノ賛成ヲ得居ルコト

三、西班牙カ常任理事ヲ希望スル理由ハ

(1) 大戰中歐州ノ最重要ナル中立國トシテ戰禍ノ輕減ニ努  
メタルコト

(2) 理事会ニ於テ常ニ仲裁者ノ地位ニ立チ理事会機能ノ重  
要ナル部分ヲ占メ居ルコト

(3) 國際司法裁判所ノ構成ニ各法律系統ノ代表ヲ考慮シタ  
ル如ク常任理事中ニモ各民族ノ代表ヲ入ルコト当然ナ  
ル处西班牙系十七國ノ連盟加入國中一國モ右ニ加ハリ居

二 國際連盟理事増員問題 二七 二八

ラサルハ甚タ當ヲ得ス故ニ理事会カ規約第四条ニ關スル  
事項ヲ討議スルニ於テハ西國ノ常任理事加入ヲモ討議セ  
ラルヘキモノナルコトヲ正式ニ要求スルコトニ決シ居レ  
リ

連盟ヘ転電在欧各大使、瑞、波蘭ヘ郵送

二八 三月六日(着) 在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

常任理事増員問題ニ關スル英國首相外相ノ下

院ニ於ケル方針説明ノ件

第四九号

往電第三六号ニ關シ

四日下院ニ於テ本件討議アリ本使親シク傍聴シタルカ当日  
外相及首相ハ今回ノ寿府會議ニ於テハ英政府トシテハ「ロ  
カルノ」會議ノ声価ヲ危殆ナラシムル何物ニ對シテモ同意  
スマシク独逸ノ連盟加入及理事會員タルコトヲ第一ノ目的  
トスヘキコト西班牙ニ對シテハ四年以前(ロイドジョウデ  
首相当時)同國常任理事ノ希望ヲ支持シ現政府又右支持ヲ  
「レニユウ」シタルカ其ノ時機ハ別問題ナルコト右以外ニ  
從来何國ニ對シテモ保障ヲ与ヘ居ラサルコト及二週間前現在

英國獨逸大使ヨリ理事会前閣係國間代表者会合方申入レ有  
リタルニ付之ヲ承認シ理事会前ニ「ロカルノ」條約調印國  
代表者会合協議スルコトヲナレルコトヲ發表セル以外ハ大  
概從來ノ所論ヲ繰返シ英國代表者カ予メ其ノ態度ヲ束縛セ  
ラルルコト無ク會議ニ臨ムノ必要ヲ力説セルニ止リタルニ  
対シ「マクドナルド」「ロイドジョウジ」等ハ本件ニ対ス  
ル政府ノ態度ヲ言明セシメント追及シ又外相ハ「フリーハ  
ンド」ト云フモ既ニ何等意見ヲ懷抱シ居ル可ク從テ自由ニ  
非スト弁難シ表決ノ結果政府ノ態度ハ百票ノ差ヲ以テ是認  
セラレタルカ今回ノ會議ニ於テハ獨逸以外ニ常任理事ヲ増  
加ス可ラストノ反対党ハ勿論保守党内ニモ同論者鮮カラス  
又当日首相ハ閣僚間ニ本件ニ閑シ意見ノ相違無キ旨明言セ  
ルモ事実異論有リタルモノト伝ヘラレ從テ仮令從来何等  
「コンミット」シタル處アリタリトスルモ此ノ一般的ナル  
國論ヲ全然無視シ外相一個ノ考へニ依リ本件ヲ處理スルコ  
ト不可能ナル可ク当日外相ハ多少困却ノ地位ニ在ルモノト  
ノ感想ヲ得タルト共ニ首相ノ言明ハ獨逸以外ノ國ノ問題ハ  
将来ニ延期セシムルノ方針ナルヤノ印象ヲ多少与ヘタリ尚  
波蘭ニ關シテハ西班牙ノ常任理事トナリタル後釜ニ非常任

ラルルコト無ク會議ニ臨ムノ必要ヲ力説セルニ止リタルニ

対シ「マクドナルド」「ロイドジョウジ」等ハ本件ニ対ス

ル政府ノ態度ヲ言明セシメント追及シ又外相ハ「フリーハ

ンド」ト云フモ既ニ何等意見ヲ懷抱シ居ル可ク從テ自由ニ

非スト弁難シ表決ノ結果政府ノ態度ハ百票ノ差ヲ以テ是認

セラレタルカ今回ノ會議ニ於テハ獨逸以外ニ常任理事ヲ増

加ス可ラストノ反対党ハ勿論保守党内ニモ同論者鮮カラス

又当日首相ハ閣僚間ニ本件ニ閑シ意見ノ相違無キ旨明言セ

ルモ事実異論有リタルモノト伝ヘラレ從テ仮令從来何等

「コンミット」シタル處アリタリトスルモ此ノ一般的ナル

國論ヲ全然無視シ外相一個ノ考へニ依リ本件ヲ處理スルコ

ト不可能ナル可ク当日外相ハ多少困却ノ地位ニ在ルモノト

ノ感想ヲ得タルト共ニ首相ノ言明ハ獨逸以外ノ國ノ問題ハ

将来ニ延期セシムルノ方針ナルヤノ印象ヲ多少与ヘタリ尚

波蘭ニ關シテハ西班牙ノ常任理事トナリタル後釜ニ非常任

理事タラシム可シトノ論ト同國ノ為メニ非常任理事ノ數ヲ  
増加スヘシトノ論或ル方面ニ存スルモノノ如シ  
在仏大使ヘ転電シ独、白、伊、波蘭、西班牙、伯國ヘ暗送  
セリ

二九 三月八日(着) 在ジュネーヴ石井連盟理事ヨリ

幣原外務大臣宛(電報)

ボーランド常任理事國候補ニ関スルロカルノ

条約署名國代表者會議ニツキ報告ノ件

第六号

「ロカルノ」条約署名國代表者ハ本七日英外相ノ「ホテ  
ル」ニ集リ波蘭常任理事國候補ニ付数時間協議シタルカ独  
逸側ノ主張強硬ニシテ一歩モ讓ラス為ニ明日再開ヲ約シテ  
散会セリ前電本使ノ想像トシテ申進シタル状態ハ益々事實  
トシテ現ハレツツアリ即チ波蘭ニ対スル盟約暗約等ノ為此  
際飽ク迄独逸ヨリ讓歩ヲ取付ケルヲ必要トスルノ事情可否  
明後日連盟ニ寄託ノ筈ナル同條約ノ批准ノ運命ニモ關係ヲ  
及ホスニ非スマト思ハルニ至レリ此ヨリ先本使ハ議長ト  
シテ先以テ常任理事候補國ヲ除キタル代表者ヲ選メテ内相  
談ヲ開ク事ニ致シ總長ト打合置タルモ先決問題定マラサレ  
談ヲ開ク事ニ致シ總長ト打合置タルモ先決問題定マラサレ

ハ其内相談モ待タサルヲ得サルニ至レリ

英、仏、独、白、伊、波蘭、西、瑞典、米、伯ニ転電セリ

三〇 三月十日(着) 在ジュネーヴ石井連盟理事ヨリ

幣原外務大臣宛(電報)

ボーランドノロカルノ条約批准留保ニ関スル

件

第九号

往電第六号ニ關シ「チェンバレン」ノ本使ニ内話スル處ニ  
依レハ「ブリアン」出発後「ボンクール」トノ談話ニテハ  
何分「ロカルノ」ノ光景ウツラス話ハ却テ後戻リノ廣アリ  
此分ニテハ「ブリアン」ノ帰來ヲ俟ツ外ナシト云フ波蘭首  
相ハ自國議会カ「ロカルノ」条約ヲ批准シタルハ常任理事  
ノ地位ヲ受ルヲ想像シテノ事ナレハ此点ニ確信ヲ得サル間  
ハ右批准ヲ寄託スル能ハスト主張シ今九日總テノ批准ヲ寄  
託スルノ予定ハ之カ為メ御流レトナレリ英外相ハ獨逸波蘭  
ノ外西班牙伯刺西爾ヨリ取巻カレ彼ハ「ブリアン」ノ不在  
中單身四方ヨリ攻メ付ケラレ板挾ミノ苦境ニアルカ如シ他  
方瑞典ウンデン氏ハ自分ノ有スル訓令ハ本件ヲ九月總会迄  
無条件延期スルヲ讓歩ノ極度トナシアリ獨逸以外ノ何国タ

所以ヲ懇々説明シタルモ獨逸ハ其連盟加入ニ對シ反対党ヲ  
説キ伏セ連盟加入賛成者ヲ作ランカ為ニ獨逸ノ連盟ニ加入  
スルヤ直ニ現状ノ儘ノ理事会ニ独リ常任理事トシテ入レラ

ルルコトヲ公言シ漸ク多数ヲ制シ得タル行懸リ上今日ニ至リ理事会組織ニ意外ノ変更アルニ於テハ独逸ノ加入申込ミヲ中止シ一旦柏林ニ帰リ更ニ取ルヘキ態度ヲ考慮セサルヲ得スト主張シ尚當方ヨリ理事会内ニ於テ組織変更ノ議ノ進行中未タ連盟ニ加入セサル独逸カ埒外ヨリ妨害シテ議事ノ進行ヲ妨クルノ責任ヲ取ルヤト問ヒ詰メタルニ独逸ハ躊躇ノ後互譲ノ精神ヲ以テ此際一先ツ独逸ノミヲ常任理事トセラレタル上独逸ノ加ハリタル理事会ニ於テ一ノ委員会ヲ設ケ之ヲシテ理事会組織ノ議ニ付審査ノ上報告ヲ提出セシムルコトニハ異議無シト申出テ之ヲ以テ讓歩ノ極度ナリト主張ス之今朝迄ノ現状ナリ

之ヨリ各理事ノ間ニ意見ノ交換ヲ始メ英外相ヨリ理事会拡張ニ反対ナリト称セラルル瑞典代表ノ意見ヲ求メ「ウンデン」氏ハ自分ハ現状ヲ以テ増員ヲ必要トスル方面ヨリ何故ニ其必要アルカラ承リ度シト酬ユ茲ニ於テ英外相ハ「ロカルノ」条約ノ結果トシテ仏白ト独逸トノ間ニ「ライン」河防備地帯ノコトヨリ戦争起リタリト仮定シテ其事件カ理事会ニ來リタル場合ハ利害関係者トシテ投票ニ加ハルヲ得サルモノ六ヶ国ヲ生スルコトアルヘキヲ指摘シ斯ル場合現状

ニテハ常任理事ハ日本一箇國ニシテ他ニ三ヶ國ノ非常任理事ヲ残スノミ此四ヶ國ノミニテ歐州ノ興廢ニ関スル本問題ヲ處理セラルルコトハ事實不可能ナルヘシト述へ増員ノ必要他ニモアレトモ以上ハ其顯著ナル一例ナリト説明シ英國ノ関スル限り増員ノ約束ヲ為シタルハ一九二一年「バルフォーア」氏カ西班牙ノ候補ヲ提出シタルノミニテ他ニハ何等ノ約束ハ無ケレトモ今日ノ場合波蘭カ理事会ニ入り独逸ト対等ノ地位ヲ有スルノ必要ハ無視シ得サル処ナリトテ長々ト此点ヲ主張セリ

「ベネシュ」ハ今日ノ現状ニ照シ理事会ノ増員ハ已ムヲ得サルモノト認ムト簡単ニ述へ白耳義ハ主義トシテ其増員ニ反対ナリト前提シ長々ト其理由ヲ強硬ニ述へタリ次テ瑞典外相ハ自國政府ノ意見及官民大体ノ輿論ハ一致シ居ル処ニシテ自分ノ有スル訓令ニテハ独逸以外ノ増員ニハ反対セサルヲ得ス但シ本件ヲ委員会又ハ其他ノ方法ニ依リ調査ヲ為シ次期総会ニ於テ説議スルノ説ニハ賛成ヲ辞セス訓令的確ニシテ此以外ニ行動ノ自由ヲ有セスト言明ス本使ハ帝国政府ハ主義トシテ此際独逸以外ノ増員ニ反対ナリト宣明シタル上理事会ノ増員ハ纏テ理事会ノ性質ヲ變シテ無責任ナル

### 討論会ニ化セシムヘシトハ世人ノ憂フル処ニシテ一方「チ

#### 連中ハ全ク板挟ノ地位ニ置カル

エンバレン」氏ノ述ヘラレタル新事態ニ鑑ミ極メテ少數ナル増員ハ蓋シ已ムヲ得サル事カトモ思ハルニ付吾人ハ此際討論會ノ変態トナルカ如キ憂ナクシテ幾許理事国数ヲ増加シ得ルカラ研究シ其數ノ決定スルヲ待チ細目ニ入り如何ナル國ヲ加フヘキカラ議シテハ如何ト試ニ提議シタルニ此説ニ對シ賛成者多カリシモ英外相ハ其數ヲ決定スル事後日不可能ナレハ其提議ヲ深ク主張セサラン事ヲ本使ニ求メタリ仏西班牙伯刺西爾代表相次テ「ウンデン」氏ノ説ヲ駁シ之ニ對シ「ウンデン」氏ノ反駁アリタルカ要スルニ理事會トシテハ独逸カ總會ニ於テ連盟加入ト決セラレタル上ナラテハ独逸ノ常任理事問題ヲ公然議シ得サル一方独逸ハ予テ各理事國ヨリ取付置キタル約束ヲ盾トシ總會ニ於ケル独逸加入ト獨逸ヲ常任理事國トスヘキ理事会ヨリ總會ニ提出スル提議トノ間ニ間隙ナカラシムル為ニ予メ独逸ヲ常任理事トスル件ニ付理事会ノ内決議ヲ済マサレン事ヲ望ミ若シ然ラシテ總會ノ加入問題ヲ進行セラルレハ独逸ハ自然危惧ノ念ニ驅ラレ加入申込ノ中止ヲ申出テサルヲ得スト迄「ロカルニスト」ニ告ケラレタル由ニテ「ロカルニスト」

付事務總長ト相談シタル處支那ハ既ニ公文ヲ以テ申込ミ總那モ亦候補國ノ一タル事ヲ注意シタレトモ誰モ支那ヲ顧ルモノナシ支那ノ希望ハ本使ヨリ取次クノ必要アルヤ否ヤニ付事務總長ト相談シタル處支那ハ既ニ公文ヲ以テ申込ミ總

長ヨリ其公文ヲ各理事ニ配布シタル事ナレハ本使ノ取次ハ必要ナキニ至レリ

英、仏、独、白、伊、西、瑞典、波蘭、米、伯ヘ転電セリ  
三二 三月十三日(着) 在ジユネーヴ石井全權ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

常任理事増員問題ニ関スル理事会議事統報ノ

件

第一四号

往電第一号ニ閑シ

十一日理事会ハ公開一時間ニシテ秘密会ニ移リ人事ヲ議シ次イテ絶対秘密ノ内談会ニ入ル劈頭「ワルガイ」ハ独逸常任理事ノ議ヲ他ノ問題ト離シテモ賛成スト述ヘ西班牙ハ自分モ亦已ムヲ得サレハ他ノ問題ト離シテ独逸ニ投票スヘシ次イテ取ルヘキ行動ハ独リ自國ニノミ闇スルカ故ニ此處ニ言フヲ要セスト述フ(即チ連盟脱退ヲ意味ス)伯刺西爾ハ昨晩ノ陳述ヲ繰返シ今ノ處独逸丈ヶヲ離シテ之ニ投票ヲ与フル能ハスト述フ(一昨年独逸カ各理事国ニ照会シタルニ伯刺西爾ノミハ独逸ノ常任理事タルコトニ対シ明諾ヲ与ヘサリシ事情明トナレリ)今朝着シタル「ブリアン」氏ハ常

年間連盟ノ為尽瘁シタル諸国ハ連盟ヨリ事実放逐セラルルノ奇觀ヲ呈スルコトトナルヘクスカル奇怪千万ナル結果ヲ齎シ巴里ニ帰ラハ自分ノ内閣モ二十四時間ヲ維持スルヲ得理事会ハスル惨状ヲ惹起シ之ヲ看過スルヤト推問ス「チエンバレン」氏ハ各同僚ニ和衷協同ノ精神ヲ發揮セラレンコトヲ求メ特ニ瑞典代表ニ対シ殆ント歎願的ニ其反省ヲ促スコト二回ニ及ヒタルモ「ウン」氏ハ頑トシテ動カス本問題ニ限ラス動モスレハ連盟脱退ヲ仄カシツツ理事会ニ提議ヲ為ス国アルハ悲ムヘキ状態ニシテ自分ニ忌憚ナク言ハシムレハ「スカンジナビヤ」諸国ハ勿論其ノ他ノ国ニ於テモ理事会増員ニ反対スルモノ頗ル多数ナル今日本問題ノ詮議

ニ僅カ數ヶ月ヲ与ヘ能ハサル理由ハ自分ノ到底了解シ能ハサル処ナリスル横暴ノ議論カ通過ストセハ「スカンジナビヤ」諸国及其ノ他ニモ連盟脱退ノ惧無キニ非サルコトヲ此処ニ注意スト言明ス此処ニ於テ英外相ハ卓ヲ叩キ沸然トシテ斯ノ如ク脅迫ニ対スルニ脅迫ヲ以テスル以上問題ノ解決ハ殆ント绝望ナリ斯クナル上ハ自分ニモ覺悟アリト怒鳴レリ更ニ西班牙伯刺西爾代表三向イテモ飽ク迄独逸ニ投票ヲ拒ムトセハ自分ハ斯カル場合ニ処スヘキ的確ナル訓令アルコトヲ予告スト言ヒ即チ独逸ニ投票ヲ拒ム國ハ何国タルヲ問ハス其ノ国ヲ常任理事トスル議ニハ賛成スヘカラストノ厳格ナル訓令ヲ有シ居ルカ故ニ此点ハ予メ承知アリタシト敷圖ク

茲ニ至リ本使ハ我國ノ方針ハ既ニ述ヘタルカ如ク主義トシテハ増員ニ反対ナレトモ斯ル連盟興廢ノ危機ニ際シテハ帝國政府ハ若干適當ノ増員ニ枉ケテ承諾スヘシト述ヘ他ノ同僚ニ向ヒテモ同様妥協ノ精神ヲ示サンコトヲ勧告シタルニ西班牙ハ「ウンデン」及「チエンバレン」氏カ西國ノ態度ニ脅迫アリト云ハレタルハ甚々迷惑ナル所ニシテ西班牙ハ独逸ニ投票ヲ与フヘシト宣言シアルニ非スヤト述ヘ其ノ後

## 二 國際連盟理事増員問題 三三

四〇

会ハ極メテ殺風景ニ終リタルカ最後ニ「ブリアン」ハ已ム  
ヲ得サレハ自分単独ニテモ今一度直接独逸ノ宰相ニ面談シ  
彼ノ反省ヲ求ムヘシト述へ遂ニ英外相モ之ニ加ハルコトト

ナリ明朝独逸側ニ嚴談ヲ試ムルコトトナリ一方理事中此ノ

際本国政府ノ訓令ヲ要スル向ハ明日午後迄ニ接手スル様計

ラルルコトトナリ形勢ニ依リテハ明晩会合スヘキ旨ヲ申合

セ散会セリ

本日討論中英外相ヨリ瑞典外相ニ対シ若シ各理事カ政府ノ  
訓令ヲ振リ廻シ動キノ付カヌ態度ヲ取ルセハ吾人此處ニ  
集マルノ理由何處ニアリヤト責メタルニ対シ「ウンデン」  
ハ二三理事カ他ノ国ニ思ヒ思ヒノ約束ヲ為シタルカ為メ動  
キノ付カヌ現状ヲ惹起シタルニ非サルカト逆襲シ前者ヲ閉  
口セシメタルコト及「チエンバレン」カ伯刺西爾代表ニ対  
シ貴代表ハ恐ラク本国政府ノ訓令ヲ読み違ヘ居ルニ非サル  
ヤ倫敦ノ貴国大使ハ自分ニ向ヒ伯刺西爾カ独逸ニ投票ヲ惜  
シマス伯刺西爾ノ希望ハ絶対的ノモノニ非ス尚ホ右様ノ言  
ヲ為ス者アラハ取消サレタシト迄述ヘタリト指摘シタルト  
キ伯刺西爾代表ハ色ヲ失シ暫クハ物モ云ハス遂ニ本国政府  
ニ請訓云々ヲ申出テタルコトヲ此處ニ追加ス

### 第一五号

往電第一四号ニ閲シ

「ロカルニスト」ヨリ此ノ際波蘭ノミヲ仮ニ非常任理事ト  
シソノ他ハ九月総会迄待テ決スル事トスル案ヲ提出シタル  
ニ独逸ハ考慮ノ上回答スル事トナレル由ニテ之迄提出シタ  
ル案ハ独逸側ハ即坐ニ反対シタルカ今回初メテ考慮シ度シ  
ト述ヘタルハ多少好現象ナリト「チエムバレン」ハ本使ニ  
語レルカ之ヨリ先独逸側ハ「ウンデン」氏ヲ訪ヒ今回ノ案  
ニ反対ナリト内話セル由ナレハ問題ハ進捗セス一方総会側  
ハ便々ト待タサルニ胆ヲ煎ラシ西班牙伯刺西爾等ニ至ル  
迄ヨシ理事会ノ一致ニテ提出シタリトテ却テ総会ニ多数ヲ  
得サルノ惧有ル迄ニ反感起リツツ在リ常任理事ノ増員実現  
セサル可シト観測セラルニ至レリ

英、仏、伊、白、独、瑞典、西班牙、波、米、伯へ暗送セ  
リ

三四 三月十三日(着) 在米國松平大臣宛(電報)

連盟常任理事増員問題ニ関スル米國ノ新聞報

道ニ閲スル件

第四八号

連盟理事増員問題ハ当國新聞ノ多大ノ注意ヲ喚起シ居レル  
所十日「ゼネバ」発A・Pハ同日理事会非公式会合ニ於  
テ日本、西班牙、伯刺西爾、三国カ独逸ヲ常任理事国トス  
ルコトヲ拒絶セリト確聞ス但シ日本ハ独逸ヲ推スニ必スシ  
モ反対ナラサルモ独逸支持ヲ明ニスルニ先チ右ハ理事会ニ  
テ幾何ノ賛成アルヤ又理事会ノ意図カ他ニモ常任理事ヲ增  
置セントスルニアルヤヲ確メ以テ候補者中ヨリ日本ノ最適  
当ナリトスル諸国(独逸ヲ含ム)ヲ選ハントスルモノナリ

同夜日本側ニ於テハ日本ハ「ロカルノ」協定ニ参加セサリ

シヲ以テ同協定署名國ノ如ク本件ニ関シ独逸ヲ支持スヘキ

義務ナシト説明セル旨報シタルカ一二新聞紙ハ『日本西班

牙及「ブラジル」「ロカルノ」協定ヲ書ス』ト題シ右通信

置セントスルニアルヤヲ確メ以テ候補者中ヨリ日本ノ最適

当ナリトスル諸国(独逸ヲ含ム)ヲ選ハントスルモノナリ

同夜日本側ニ於テハ日本ハ「ロカルノ」協定ニ参加セサリ

シヲ以テ同協定署名國ノ如ク本件ニ関シ独逸ヲ支持スヘキ

義務ナシト説明セル旨報シタルカ一二新聞紙ハ『日本西班

牙及「ブラジル」「ロカルノ」協定ヲ書ス』ト題シ右通信

英、仏、伊、白、独、瑞典、西、波、米、伯へ暗送セ  
リ

三三 三月十三日(着) 在ジユネーヴ石井全權ヨリ

幣原外務大臣宛(電報)

ボーランド以外ノ非常任理事ノ選出ハ九月總

会マデ延期トノロカルニストノ提案ニ対シド

イツハ考慮ノ上回答スル意向ナル件

### 第一五号

往電第一四号ニ閲シ

「ロカルニスト」ヨリ此ノ際波蘭ノミヲ仮ニ非常任理事ト  
シソノ他ハ九月総会迄待テ決スル事トスル案ヲ提出シタル  
ニ独逸ハ考慮ノ上回答スル事トナレル由ニテ之迄提出シタ

ル案ハ独逸側ハ即坐ニ反対シタルカ今回初メテ考慮シ度シ

ト述ヘタルハ多少好現象ナリト「チエムバレン」ハ本使ニ

語レルカ之ヨリ先独逸側ハ「ウンデン」氏ヲ訪ヒ今回ノ案

ニ反対ナリト内話セル由ナレハ問題ハ進捗セス一方総会側

ハ便々ト待タサルニ胆ヲ煎ラシ西班牙伯刺西爾等ニ至ル

迄ヨシ理事会ノ一致ニテ提出シタリトテ却テ総会ニ多数ヲ

得サルノ惧有ル迄ニ反感起リツツ在リ常任理事ノ増員実現

セサル可シト観測セラルニ至レリ

### 第一六号

往電第一五号ニ閲シ

獨逸宰相ハ本日午後「チエムバレン」ヲ訪ヒ「ロカルニス

ト」最後ノ提案ヲ承諾シ能ハサル旨ヲ言明シタル由ニテ

「チ」氏ハ本使ヲ晚餐中ニ來訪シテ最早自分ノ策尽キタル

ニ付此上ハ議長タル本使ニ策アラハ試ミラレタク兎モ角ト  
三日中ニ理事会ヲ召集シテ最後ノ決定ヲ執ラレタント依頼  
シテ帰レリ之ヨリ先キ本使ハ本日病氣中ノ「ウンデン」氏

ヲ往訪シタル時彼ハ若シ独逸ニシテ「ロカルニスト」最後  
ノ提案ヲ諾ストスレハ自分ハ本国政府ニ電訓ヲ求ムルモ

リナリト云ヘルニ付何事ニ付テナリヤト間ヒタルニ瑞典ハ  
非常任理事ヲ輪番制ニナサンントノ素論ナルカ故ニ其主義ヲ

此際ニ応用シ進ンテ非常任理事ノ現地位ヲ辞シ波蘭ノ即時  
繼承ニ便セントスルノ件之ナリト内話セリ

此事ヲ本使ヨリ極内密ニ英外相ニ告ケ置キタルカ同外相ハ  
今夕来訪ノ際此事ニ言及シ一縷ノ望ハ尚此處ニ存スルニ非  
サルカト述ヘタリ本使ハ今一応内談ヲ試ミントテ「ウンデ  
ン」ニ電話シタルニ病中ノ彼ハ外務次官ヲ本使ノ下ニ遣シ  
吳レタルニ付更ニ此事ヲ彼ト談シタルカ独逸カ最後ノ提案  
ヲ承諾セサル以上「ウンデン」氏カ本国政府ニ謀ルノ余地  
ナキ事ヲ明言セルニ付之亦絶望ニ終レリ本使ハ明日理事会  
ヲ召集シ最後ノ妥協ヲ試ムヘシ

英、仏、独、伊、白、瑞典、西、波蘭、米、伯ヘ転電セリ

三六 三月十五日(着) 在ジユネーヴ石井全權ヨリ

幣原外務大臣宛(電報)

及ビ議論マトマラズ更ニドイツト交渉スルコト

トトナリタル旨報告ノ件

#### 第一七号 至急

今土曜日朝総会ノ本会議ヲ開キ予算問題ニ加ヘテ故「ブル  
ジョワ」氏ノ追悼ノ為提案者タル「コロンビア」代表及總  
会代表トシテ議長ノ二演説ヲ聴クコトト成レリ右總会ノ始  
トノ談話ノ模様ヲ告ケ此方面ニ望ミ無キコトヲ述ヘ午後ヨ  
リ理事会ノ内談会ヲ開クコトトセリ

右内談会ニ於テハ「エンバレン」氏ヨリ「ロカルニス  
ト」側ノ策尽キタルニ付此上ハ全然理事会ノ問題ト為サレ  
ンコトヲ議長ニ申出タルコトヲ披露ス「ブリアン」ハ独逸  
側カ昨年三月理事会ノ対並回答ニ独逸ハ連盟及理事会ニ無  
条件ニテ加入スルコトヲ承諾スル云々ノ一説ヲ引照シ今ニ  
於テ独逸カ彼此条件ヲ付シテ規約第四条ニ依ル理事会ノ權  
能ノ行使ヲ妨害セントスルハ前來ノ経過ヲ無視シ不法ノ甚

シキモノナリト論シ只管独逸ノ責任論ヲ主張ス

其他二三ノ理事モ只形勢危急ニ瀕スル事ヲ云フノミニテ新  
ニ提案ヲ為スモノ無キニ至リタル機会ヲ以テ本使ハ再ヒ帝  
国政府ハ理事会増員ニ主義トシテ反対スルモノナル事ヲ繰  
返シタル後一ハ連盟ヲ此窮状ヨリ脱セシメン為一ハ「エ  
ンバレン」「ブリアン」氏等ノ述ヘタル如ク「ロカルノ」  
条約ニテ作ラレタル新形勢ニ鑑ミ妥協ノ精神ヲ以テ此際若  
干適当ノ範囲ニ於ケル理事会増員ヲ枉ケテ承諾スヘキ事ヲ  
述ヘタル上同僚ニ於テモ本使ト等シク妥協ノ精神ヲ發揮セ  
ラレタシト前提シ本使カ前日來苦心ヲ重ねタル後案出シタ  
ル最後ノ妥協案ナリトシテ次ノ案ヲ提出ス

〔〕此際独逸ヲ常任理事ト指命シテ之ヲ總会ニ提議スル事

〔〕理事会組織ノ現状ニ若干ノ変更ヲ為スノ必要ヲ理事会ニ  
於テ認ムル事

〔〕右変更ノ内容ハ理事会ノ全員委員会ニ於テ審議スル事理

事会ハ來ル六月ノ会期中ニ本件ニ付決議ヲ為シ以テ總会

開会ノ三ヶ月前ニ連盟各国ニ通報スルノ手段ヲ執ル事

右案ニ依レハ西班牙伯刺西爾ハ各自ノ候補カ今回審議セラ  
レサルノ犠牲ヲ免カレサルモ第二項ニ於テ理事会現状組織

提議力理事会ニ於テ議セラレサル間ハ独逸ニ対スル投票ヲ為シ能ハスト言明シ即チ本使提案ノ第一項ト相容レサル態度ヲ示シ伯刺西爾ハ論点ヲ避ケテ此際独逸ヲ含ミタル總テノ常任理事問題ノ延期ナラハ同意ス可シト述フ  
斯クテ各国ノ態度ハ支離滅裂ニ陷リ「ブリアン」ハ再ヒ独逸ノ責任論ヲ持チ出シタル上自分ハ何ノ道独逸宰相ニ訪問ヲ返ス要アルニ付今夕同宰相ヲ訪ヒ最後ニ差向ノ談話ヲ試ミ其ノ結果ヲ同僚ニ報告シタル上明日今一度内談会ヲ開キ最後ノ手段ヲ決定シ度ク尤モ独逸カ譲フサレハ彼ノ申分ヲ無視シ總会ヲシテ独逸加入問題ヲ日程ニ上サシメ總会ニ於テハ他ノ各国代表ト等シク理事会国代表モ独逸加入ノミナラス理事会組織問題ニ關スル各自ノ意見ヲ述ヘシムルノ機会ヲ作り以テ本件ヲ世界ノ輿論ニ訴ヘルコトシ度シト打ツテ出タリ白耳義代表ヨリ其ノ案ハ立處ニ独逸ノ加入申込撤回ノ結果ヲ來スヘキカソレニテモ構ハサル積ナリヤト問ヒタルニ「ブリアン」氏ハ答テ独逸ノ態度ハ吾人ノ干与スヘキ限ニ非ス独逸カ其加入申込ヲ撤回スレハ自己ノ行動ニ依リ来ルヘキ責任ノ全部ヲ負ハサルヘカラスト述ヘコレ迄独逸ノ加入申込撤回ハ「ロカルノ」条約ノ消滅歐州ノ平和英、仏、伊、白、独、瑞典、西班牙、波蘭、米、伯ヘ暗送セリ

三七 三月十六日(着) 在ジユネーヴ石井全權ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
常任理事増員問題ニ關スル理事会議事報告ノ件

## 第二二号

往電第一七号ニ閲シ

十五日午前理事会内談会ヲ開ク「ウンデン」氏理事会組織ニ変更ヲ加ヘサルノ主義ヲ貫キ連盟ノ危機ヲ救ハントセハ自國ノ非常任理事國ノ地位ヲ波蘭ニ譲ルノ途ニ出スルノ外ナキヲ認メ独逸側ニ内談シタル處独逸ハ他ニ一國同様ノ手

段ニ出スルニ於テハ賛成スヘシト申出タル旨述ヘタルニ付

「ベネシユ」氏然ラハ自國進ンテ犠牲タルヘク只智恵古ノ

席ハ「ブチト・アンタント」ノ一國ニ与ヘラルニ於テハ直ニ本国政府ニ請訓スヘシト約セリ尚西班牙ハ前回ノ言明ヲ取消シ独逸ニ投票スヘキヲ約シタルモ連盟脱退ノ意思ヲ仄カセリ之ニ対シ「チエンバレン」ハ西國ノ脱退ハ致シ方ナキニ付放任ノ外ナシト本使ニ耳語セリ又伯刺西爾ハ依然独逸ニノミ常任理事ノ地位ヲ与フヘカラストノ訓令ニ基キ前言ヲ翻カヘササルニ付同國ヲシテ尠クモ本件ニ付棄權ノ態度ヲ取ラシメンカ為本使及主要國理事ニ於テ伯國大統領ニ態度緩和ノ勧誘発電方協議中ナリ尚本日午後四時總会幹部会開催ノ上明十六日ノ總会ヲ翌日ニ延期方決定スル答委細ハ後報スヘキモ不敢  
英、仏、伊、白、独、西、瑞典、瑞西、波蘭、米、白ヘ転電セリ

## 三八 三月十六日(着)

在中国芳沢公使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

中国ノ常任理事國加入希望ハ問題外トノ五国

公使會議ノ空氣報告ノ件

往電第二一号ニ閲シ

三九 三月十七日(着) 在ジユネーヴ石井全權ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

常任理事増員問題ニ關スル理事会内談会ノ模

様報告ノ件

## 第二二号

十五日早朝ヨリ午後ニ懸ケ内談会アリ午餐後日英仏伊ノ代表ハ西班牙、伯刺西爾ヲ招キテ懇談ヲナシ次テ總会ノ幹部会理事會公開ノ後午後八時半迄内談会ヲナシ事務總長晚餐會

会後又々懇談ヲ遂ケタリ併カモ伯刺西爾ノ為ニ一致点ヲ見出スノ見込付カサリシニ付幹部会ニ於テ本使ハ理事会ノ名ニ於テ未タ一致点ヲ見出ササルモ兎モ角独逸加入問題ヲ明後十七日ノ総会ニ付議サレタク幸ニシテ明日中ニ妥協成立スレハ十七日ノ総会ハ第一ニ独逸ノ連盟加入ヲ議決シタル上一時間休会シ此間ニ独逸ヲ常任理事トスルノ議ヲ理事会ヨリ總会ニ提出スヘク總会ハ直ニ同提議ヲ詮議スルコトトス可ク独逸妥協不成立ニ了ラハ同總会ニ於テ理事会各代表ヨリ各自ノ意見ヲ言明シ次テ總会一般ノ討論ヲ促カシ以テ世界ノ輿論ニ訴フルコトス可シト提議シ其ノ通決定セリ左ニ今日三回ニ亘ル内談会ノ経過ヲ總括シテ報告ス

(一)英外相ハ伯刺西爾代表ノ詳細ナル説明ニ依リ事情判明セルニ付過日訓令読違云々ノ質問ハ取消ス旨ヲ述フ  
(二)瑞典独逸代表間ノ内交渉ノ結果瑞典智恵古ノ辞職ノ件往電第二号ノ通

〔三〕「ブリアン」氏ハ昨夜独逸宰相及外相ト談話ノ結果ヲ報告セルカ之迄独逸ノ反対ハ主トシテ波蘭ニアリタルカ既ニ波蘭ニ付異議ヲ唱ヘサ(脱)ニ決シタル今日西班牙伯刺西爾ニ対シテハ左シタル反対ナキカ如キ感想ヲ得タリト結論シ

独逸ヲ常任理事トスル議ニ投票スルヲ得スト繰返ス  
〔四〕「ブリアン」氏ハ今日ノ難闘ハ瑞典ニ非スシテ伯刺西爾トナリタルカ理事会ヨリ伯刺西爾大統領ニ宛テ電報ニテ妥協ヲ求ムルノ交渉ヲ為シテハ如何ト提議シタルカ同提議ハ過日英國外相ヨリ単独ノ名義ヲ以テ既ニ試ミタルカ大統領ノ承諾ヲ得サリシコト解リタルニ付今亦理事会ノ名ヲ以テスルモ無益ナルヘシトテ廃案トナリ去リトテ伯刺西爾駐劄ノ各国代表ニ訓電ヲ発シ別々ニ伯刺西爾政府ニ交渉セシムルコトモ理事会代表者中伯刺西爾駐劄代表ニ訓電ヲ発シ得ヘキ地位ニアルモノ少ナク本国政府ヲ經由スルハ此ノ際間ニ合ハス之レ亦廃案トナリ詰リ成行ニ委スノ外ナキニ至ル  
〔五〕本使ヨリ明日再ヒ内談会ヲ開クヘキヤトノ申出ニ対シ明日本新案ヲ提出シ得ルノ見込アリト信スル者一人モナク去リトテ此ノ儘ニテ行カハ明後日ノ総会ハ激烈ナル論戰ヲ見ルノ外何等ノ結果ナク多分ハ独逸ノ加入申込撤回ニ終ルヲ惧ル者多キ有様ナリ

〔六〕事務総長ハ独逸ニ加入申告撤回ノ決心ナキモノト見越シ独逸ハ總会論戰ノ実況ヲ目撃シタル上ハ遂ニ一時非常任理事(九月ノ総会ニ於テ常任理事ニ直ルヘキ諒解ノ下ニ)ニ

タルモスクテハ瑞典白耳義等ノ反対ヲ再ヒ惹起シ問題ヲ後返リセシムルカ故ニ誰モ耳ヲ傾クルモノナシ

〔四〕英日ハ相次テ瑞典「チエック」ノ理事会ヨリ隠退スルヲ見ルハ実ニ忍ヒ難キモ此難場ヲ切抜クルノ道他ニ無之現状ニ於テ涙乍ラ此案ニ同意ス可キヲ述フ

〔五〕次テ英外相ハ本使カ十日及昨日提出シタル意見ヲ其後研究シタル結果如何ニモ名案ト思考セルカ故ニ理事会ノ全員委員会ヲ設ケ之ヲシテ理事会カ無責任ナル討論会ニ変形スルノ危険無クシテ拡張セラレ得ル程度ヲ定メシメ度シ又同委員会ヲシテ本件ニ関スル其他ノ点ニ就テモ凡テ詮議セシメ度ク自分ノ考トシテハ理事会ヲ全部選挙制ト為シ常任非當任ノ区別ヲ撤廃スルモ可ナランカト思考スト述フ

〔六〕右常任非常任ノ区別撤廃論ハ伊国代表ヨリ強キ反対有リ誰モ「チエンバレン」ニ賛成スル者無シ

〔七〕伯刺西爾ハ昨年迄米國ノ不在中代リテ常任理事タラント欲スルノ意向ニシテ今回ハ無条件ニ常任理事候補ヲ打テ出テタルモノナルカ四団ノ事状漸次不利益トナルニ従ヒ今回ハ元ニ還リ米國不在中仮ニ常任理事ノ地位ヲ与ヘラレ度ク此候補ハ引下クル事ヲ得ス又此候補カ受理セラレサル限り

テモ諾スルノ外ナキニ至ルヘシト述ヘ一同ヲ驚カセリ一同ハ此ノ言ニ励マサレテカ今ハ總会ニテ独逸加入ヲ決スルヲ待チ直ニ公開ノ理事会ヲ開キ(妥協ナキ場合)各理事堂々ト自國ノ態度ヲ披露スルノ議ニ傾ケリ蓋シ斯クスレハ一事務總長ノ説ノ如ク独逸ノ案外ナル弱腰トナルヲ見ルコトアルヘク又左ナクトモ伯刺西爾カ公会開催後ノ瞬間ニ軟化スルコトアランカトノ望幾分アルカ故ナリ何ノ途西班牙ハ独逸ニ投票シタル上引退スルノ決心ラシク今トナリテハ其レヲ引き止ムル者モナキニ至レルカ如シ

英、仏、伊、白、独、西、瑞典、波、米、伯ヘ転電セリ

〔八〕三月十七日(着)  
〔九〕在ジュネーヴ石井全權ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

常任理事増員問題ノ審議ヲドイツヲ含メ九月  
總会マデ延期スルヨウ提案スルニ決シタル件

〔十〕第三号(至急)

今十六日理事会公開ノ後ニ開カレタル内談会ニ於テ「チエンバレン」ヨリ独逸宰相外相トノ談話ノ結果ヲ披露セリ右ニ依レハ独逸側カ伯刺西爾ノ黒票ニ依リテ常任理事候補否決セラルルヲ欲セサル意向強キニ乘シ總テノ問題(勿論独

逸ヲ含ム）ヲ九月総会迄延期案ヲ出シタルニ独逸側ハ寧口其ノ方ヲ選フコト判明シタル由ヲ披露シタルニ独逸側ニシテ然ラハ好都合ナリトシテ明朝ノ総会ニ於テ独逸加入ニ関スル委員長「チエンバレン」ヨリ第一委員会ニ於ケル同会一致ノ報告ヲ為シ併シ其ノ報告ヲ総会ニ於テ直ニ採用セラレサランコトヲ請フト述へ必要ノ説明ヲ為スコトニ理事会ノ関スル限り一変セリ（初メニ右説明ヲ本使ヨリ為スノ案ナリシカ理事会ハ總会ニ於テ独逸ノ加入ヲ決議シタル後ナラテハ独逸ヲ常任理事ニ指定スルノ件ヲ議スル能ハサル規約ノ明文アリテ理事会トシテハ公然何等議シタルコト無キ答ナリトノ法理論事務長ヨリ出テ已ム無ク第一委員会委員長ヲシテ必要ノ説明ヲ為スコトニナリタル次第ナリ）英、仏、伊、白、独逸、瑞典、西班牙、波蘭、米、伯ヘ転電セリ

四一 三月十七日（着） 在スペイン國太田公使ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）  
常任理事問題ニ關スルスペイン皇帝ノ感觸及  
ビ同國內ノ新聞論調報告ノ件

第一七号

四二 三月十八日（着） 在ジユネーヴ石井全權ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）  
総会ニ於テ常任理事問題ノ審議ヲ九月総会マ  
デ延期ニ決シタル件

第二四号

十七日午前總会ノ劈頭伯刺西爾代表不譲与ヲ言明「チエンバレン」斯テハ九月総会迄独逸加入問題延期ノ他無シト述ブ「ブリアン」加入促進ノ希望案ヲ提出本使理事会議長トシテ理事会ノ構成、理事ノ員数選挙ノ方法ニ就キ九月総会迄ニ成案ヲ作成セシムル為委員会設置ヲ理事会ニ提出スキ旨ヲ予告シ討議ノ末延期ヲ決ス各演説者何レモ独逸加入ノ要ヲ力説シ瑞典「チェック」ヲ賞揚ス

英、仏、伊、白、独、瑞典、西、波、米、伯ニ転電セリ

四三 三月十八日（着） 在ジユネーヴ石井全權ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）  
常任理事増員問題ニ關スル理事会ニツイテノ所感報告ノ件

第二七号

累次ノ電信ニテ御承知ノ通今回ノ理事会ハ其組織問題ニ付

三月十三日頃ノ英仏新聞ハ西班牙カ常任理事問題ニ関シ種ノ脅迫文句ヲ以テ瑞典ニ迫マレル事ヲ伝ヘタル處同日荊妻紹介ノ為メ両陛下ニ謁見ノ折皇帝ハ本使ニ向ヒ同問題ニ關スル先日ノ好意ヲ謝セラレタル上寿府ノ形勢ハ頗ル糾紛セルニ依リ西國加入モ容易ニ決セサルカ如シトテ稍屈託ノ風ヲ示サレタルカ政府ハ十六日ノ新聞ニ「目下事態ハ當国ノ正當ナル希望ニ対シ有利ナラス恐ラク今回ハ如何ナル決定ニモ至ラス提議セラレタル諸問題ハ各方面反目ノ内ニ延期セラル可シト發表シ又言論界ニ於テ最モ重ヲ為セル「ソル」新聞ハ西班牙ノ加入問題ハ独逸ノソレニ先タチ起源ヲ有スト雖モ現下ノ連盟ノ危期ニ際シテハ之ヲ救済スヘキ方策ヲ考量スル必要有リ又事件カ大戦ニ於ケル参戦列強相互間ニ直接影響有ル関係ヨリセハ西、伯両国ノ要求ハ未決ニ付セラルルカ又ハ延期セラル可シト論シ消息通ノ中ニハ西班牙ハ連盟ヲ脱退スヘシト迄噂スルモノ有ルニ至リ朝野一般ニ本件ヲ悲觀スルニ至レリ  
連盟事務局ニ転電シ英、仏、独、伊、白、蘭、瑞典、波ニ暗送セリ

退瑞典智恵古ノ理事会辭職及波蘭ノ常任ヨリ非常任理事ニ

下ル等何レヲ見テモモ当テラレヌ結果ヲ見ルコトトナリ  
又独逸側ヨリハ之迄専心ニ独逸ヲ助ケ吳レタル瑞典ノ理事

辭職及独逸ト両立セサル波蘭ノ理事就任ヲ見ル等何レモ自

國ノ輿論ノ許ササル結果ヲ呈スルコトナリ双方トモ不便

不利ヲ感シタル余リ計ラスモ此変態ヲ見ルニ至レルカ如シ

昨今当地ニ於テハ「チエンバレン」氏ハ帰國後間モ無ク辭

職スルハ勿論ナル可ク独逸及仏國ノ内閣モ継続覚束ナク來

ル九月頃ハ英仏獨トモ全然異ナリタル人物ノ世ノ中トナル  
可シト觀察スルモノ多シ此ノ間獨リ國威ヲ増シタルハ瑞典

ニシテ男ヲ上ケタルハ其ノ外相「ウンデン」氏ナリ其ノ第

二位トシテ智恵古及其ノ外相「ベネシユ」ナル可シ

英、仏、伊、独、蘭、西、瑞典、波蘭、米、白ヘ転電セリ

四四 三月十八日

在スペイン國太田公使ヨリ

幣原外務大臣宛

スペインノ常任理事被選希望問題ノ經緯ニツ

キ報告ノ件

公第四〇号

大正十五年三月十八日

在西 帝国特命全權公使 太田 為吉（印）  
外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

常任理事問題ト西班牙ノ態度ニ關シ報告ノ件

ロカルノ會議ノ結果トシテ独逸ノ連盟加入及常任理事席承認説伝ハリシ當時當國ノ輿論ハ内政ニ集注シ居リタルト且

ツ當國自体ノ連盟加入ハ當時ノ首相「ロマノーネス」伯ノ

希望ト之ニ迎合セル駐仏大使「キニョーネス・デ・レオ

ン」氏ノ作為ニノミ出タルカ故必シモ輿論ノ支持ヲ受ケ

タルモノナリシトハ認メラレス然ルニ其後旧臘末ニ到リ軍

事執政府ハ内閣制ニ改メラレ曩ニ國際連盟ニ西國ヲ代表

セシコトアル馬德里大學國際法教授「ヤングアス」氏カ其

ノ外相ニ舉ヶラレタル以來外交方面ニ於テモ積極の方針ヲ

採用スルニ至リタルモノカ盛ニ南米重視政策ヲ鼓吹シ西語

系南米十數ヶ國ノ指導者タラントスルノ抱負ヲ現ハシタル

時恰モ本問題ノ擡頭ニ際会シタルヲ以テ急ニ一九二二年ノ

予約ヲ口実トシ常任席獲得ノ實現ヲ企圖スルニ到リタルモ

ノノ如ク二月初旬増員問題ニ對スル關係外國ノ輿論喧伝セ

ラルルヤ隨時政府ノ意ノ在ル處ヲ披瀝シテ輿論ノ指導ヲ試

ミタリシカ亞爾然丁トノ連絡飛行ニ刺戟セラレ自國ノ國際

的地位乃至使命ヲ一層深ク悟ルニ至リタル輿論ハ俄カニ連

盟理事問題ヲ重視スルニ至リ右政府ノ措置ヲ肯定シ且ツ之

レヲ援助スルニ至リ前記「ロマノーネス」伯ノ如キハ内政

ニ關シ政府ト全然反対ノ立場ニアルモ本問題ノ因スル限り

ハ潔ク政治的感情ヲ棄テ進ンテ國際連盟協會主催ノ下ニ斯

道ノ専門家ヲ集メ理事席獲得ノ大示威講演会ヲ行ハシメ

一、西國ハ歐州戰爭中嚴正中立國トシテ交戰國間相互ニ對

シ博愛的援助ヲナシ且ツ戰禍ノ瀰漫ヲ防キタルコト

二、西國ハ連盟成立以來理事國トシテ之ニ貢獻セルコト尠

カラス

三、他方西國ハ西語系南米十數ヶ國ヲ包含スル民族及文化

ノ代表者タリ

四、西國ノ立法制度ハ古來ヨリ人類平等ノ精神ヲ發揮シ居

レリ

等ヲ指摘シ右ハ何レモ連盟ノ根本精神ニ合致シ居ルモノナ

ルト共ニ西國常任理事ノ希望ハ曩ニ主要國ノ認メタル処ニ

シテ今回独逸カ加入センカ西班牙ハ中立國タリシ關係上理事國間ノ融和ニ最適ノ地位ニ在リト論シテ大イニ政府ノ後

援ニ努メ輿論モ亦益々之ヲ支持スルニ至リ常任理事席ノ要求ハ遂ニ國民一致ノ希望ト化シタルヲ以テ政府モ一層之ニ力ヲ得先以テ「キニヨーネス」氏ヲ巴里ヨリ招致シ詳細ニ其ノ意見ヲ徵スルト共ニ「ヤングアス」外相自身寿府ヘ赴クコトトシ且ツ堂々當國ノ態度ニ因スル声明書ヲ公表シ（往電第一〇号参照）内外ニ向テ大ニ氣勢ヲ張ラントセリ斯クテ各代表ノ寿府到着後政府トシテハ稍々慎重ノ態度ヲ持シタルモ同地予備會議ニ於ケル候補國代表者ノ常任理事席獲得運動激烈トナルヤ當國ノ輿論モ從ツテ神經ヲ昂メ西班牙ノ希望ニシテ容レラレサルニ於テハ独逸ノ加入モ認メス又西國ノ主張拒否セラルルカ如キコトアランカ吾人ノ代表ハ直ニ引上ケシメサル可ラスト論議シ或ハ独逸ノ強硬ナル態度ヲ攻撃シテ西國ハ這般戰時中同國ニ對シ好意的中立ヲ為シタルモ今日同國ノ暴状ハ正ニ忘恩モ甚シキモノナリト迄極論スルニ至リタルモ十五日頃ニ及ヒ增員問題ハ瑞典及

ニハ漸ク解決ノ曙光ヲ見タルモ西班牙ハ遂ニ其ノ希望達シ得サルヘキ形勢見ハルルヤ政府ハ十六日一ノ声明書ヲ公表

シ（往電第一七号参照）今次總会ニ提出セラレタル諸問題題（往電第一七号参照）今次總会ニ提出セラレタル諸問題

ハ総テ九月ノ総会迄延期セラルヘシト發表シテ言外ニ西国主張ノ不通過ヲ示シ又主要諸新聞モ頓ニ其ノ論調ヲ変へ最

近ノ大勢ハ畢竟スルニ國際連盟カ未タ歐州問題ニ惱マサレ居リ他ヲ顧ミルノ余力ナキニヨルモノナル處連盟ノ首唱者

タル北米合衆國カ依然之レニ加入セサルト同シク西班牙ハ固ト新大陸ト運命ヲ共ニスヘキモノナルカ故ニ連盟カ此ノ

如キ現状ニ在ル間ハ自ラ他ニ処スヘキ適當ノ措置ヲ見出サ

サルヘカラスト論シ当初ノ意氣込ニ似ス急ニ断念シタルカ如キ態度ヲ示シ人ヲシテ聊カ意外ノ感ヲ抱カセシムルニ至

リ越ヘテ十七日寿府ニ於テ本問題ハ総テ九月ノ総会迄延期ト決スルヤ政府ハ今回目的ヲ達スルニ至ラサリシコトヲ暗示シ希望ヲ将来ニ繫ク趣ヲ發表セリ（往電第一八号参照）

右報告ス

本信写送付先 在仏大使

四五 三月十九日 在獨國伊藤臨時代理大使ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

ジユネーヴ會議決裂ニ關スル新聞論調報告ノ

件

第一九号

何等影響セラルルコト無シトノ英仏外相ノ言ニ特ニ重キヲ置ケリ又「ロカルノ」政策ニ賛成ナル社會黨機関紙ノ論調モ右ト同様ニシテ「フルウェルツ」現内閣ニシテ倒壊セハ後繼内閣ハ更ニ明瞭ニ更ニ強ク隣邦トノ提携政策ヲ実行スルモノタルヲ要スト為ス

〔三〕共産党機関紙ハ今回ノ失敗ヲ以テ英仏ノ資本主義的政略争ヒノ結果ナリトシ独逸トシテ取ルヘキ道ハ「ロカルノ」及ヒ連盟政策ヲ辞シ英國ノ資本主義ト提携セル現内閣並ニ此破産セル政策ニ対シ多数ヲ制スル現議會ヲ直ニ消失セシムルニ在リ而シテ新選挙ハ露國トノ提携ヲ issue トシテ行フヲ要スト為ス

英、仏、西、白、「チエコ」、瑞典、米、伯ヘ郵送セリ

四六 三月十九日 在ベルギー国安達大使ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

常任理事増員問題ニ關スルベルギー外相ノ新

聞記者二対スル談話報告ノ件

第三四号 （三月二十日接受）

十八日白国外相ハ新聞記者二対シ寿府會議ノ経過ヲ告ケ「ロカルノ」條約調印国間ニ妥協成立セルニ不拘伯刺西爾

二 國際連盟理事増員問題 四六 四七

壽府會議決裂ニ關シ

〔一〕右党諸新聞ハ皆之ヲ以テ現内閣ノ失敗ナリトシテ其更迭ヲ絶叫シ居レルカ「ドイチエザイツング」ハ此際若シ「ロカルノ」及連盟政策ト絶縁セル内閣ノ組織不能ナラハ新ニ選挙ヲ行フヲ要スト為シ國權党機関紙ハ何レモ伯刺西爾ノ拒否權行使ニ依リ独逸カ行動ノ自由ヲ恢復シタルヲ賀シ「クロイツ」紙ハ寿府失敗ノ論理的結果ハ連盟加入申込みノ撤廃及ヒ内閣ノ更迭ナリトシ「ロカルノ」政治家ハ独逸ニ対シ「ロカルノ」精神ヲ裏切り連盟カ虛偽ノ機関ニ過キサルコトヲ暴露セリ今後「ロカルノ」精神ヲ口ニスル者ハ世ノ嘲笑ヲ買フノミナルヘシト難ス

〔二〕政府党機関紙ハ何レモ今回ノ決裂三対シ独逸ノ責任無キコトヲ高調スルト共ニ「ロカルノ」条約カ此決裂ニ拘ラス維持セラレタルヲ喜ヒ今後ノ外交政策ハ依然トシテ「ロカルノ」政策ヲ追フヘシト為ス而シテ「ゲルマニヤ」ハ今回ノ失敗ヲ独逸ノ責任ニ帰セントスルモノアルヲ以テ独逸ハ慎重ノ態度ヲ持シ此際濫リニ連盟組織ノ改造論等ヲ為スヲ避ケヘシト為シ Fossische ハ「ロカルノ」条約ハ既ニ道德的ニ効力ヲ發生シ就中所謂其反射的効果ハ寿府事件ニ依リ

ノ反対ノ為會議失敗ニ終リタルハ遺憾ナルカ世界一致ノ希望力单ニ一国ノ反対ノ為空シクサルルカ如キ連盟自体ノ組織ニツイテハ将来考慮ヲ加フルヲ要ス常任理事増員ノ件ハ非常ニ困難ナル問題ニシテ所謂大国以外ニ中間的勢力ノ諸國ヲ之ニ加フル事トナレハ各國トモ夫々相当ノ理由ヲ付シ之ニ割込際限ナカルヘク其結果ハ理事会ヲ各國政府ノ代表者會議ト化シ理事会ノ權威ヲ減少スルニ至ルヘシ故ニ白国トシテハ右増員問題ニ原則トシテ反対ナルモ万一増員ノ場合ハ白国カ連盟創立者ノ一員タリ世界六大工業国ノ一タリ大ナル植民地ヲ有スル事等三顧ミ白国モ当然一席ヲ要求セサルヲ得スト云ヘリ 連盟歐州各大使ヘ郵送セリ

四七 三月二十日（着） 在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

ジユネーヴ會議ニ關スル英國ノ新聞論調報告

ノ件

第五二号

今回ノ臨時連盟総会ノ失敗ニ対スル当地新聞論調ヲ見ルニ何レモ深甚ナル失望ヲ表ハシ比較的公平ナル新聞紙ハ只之以テ政府攻撃ノ具トスル事ヲ避ケ居ルモ反対党新聞紙ハ

五三

露骨ニ政府攻撃ヲ試ム「タイムス」「テレグラフ」ハ從来ノ態度ヲ聊カ和ラケ外相ニ對スル批評ヲ避ケ前者ハ連盟ノ声価ヲ維持セントスレハ寿府ニ於テ爆発セル難問ヲ解決シ得ル様規約ヲ改正スル事肝要ナリ伯刺西爾ノ行動ハ悲劇ト言フ程ノモノニ非ス今回ノ会合ニ依リ独仏両国ハ互譲妥協ノ精神ヲ一層發揮シ英國ノ仲介モ亦相當ノ効果ヲ表ハセリト述ヘ後者ハ連盟理事会ノ改革カ今回公正且ツ平靜ノ態度ヲ以テ考慮セラル事ト決シタルハ吉兆ナリトサレ将来各國カ真ノ「スピードマンシップ」ヲ發揮セム事ヲ希望シ「ポスト」紙ハ波蘭ノ理事會タル可キハ蓋シ「ロカルノ」

條約ノ精神ナリ英外相ハ恰モ協會ノ代理人トシテ獨逸以外ノ理事會員ヲ為ササル内命ヲ受ケタルモノノ如ク見做サレ為メニ自由ナル代表者トシテ當然成就シ得可キモノニ失敗セリト弁シ「メール」「イブニングニュース」モ亦失敗ノ責任ヲ英國連盟協會ニ転嫁セルカ「リーバーブルック」ノ新聞ハ依然外相ニ反対ノ態度ヲ固執シ「エキスプレス」ハ失敗ノ責ヲ「ブリアン」ノ陰謀ニ帰シ「スタンダード」ハ失敗ハ外相カ「バーミンガム」ノ演説ニ於テ「コミット」シタル事相カ

ニ就テハ此際多論セサル方宜シカラソ理事会改革問題ハ各國カ對立的態度ヲ棄テ連盟本来ノ精神ニ立戻リテ討議スル

ヲ要ス今回ノ失敗ハ政府ノ不信任ヲ詰問ス可キ筋合ノモノニ非ス腹蔵無キ討論ヲ戰ハス可キ問題ナリ何トナレハ議會ノ責任ハ既ニ著シク失墜セル英國ノ威信ヲ回復スルニ在リ吾人ハ党派的争闘ヲ欲セサルモ予一個ノ考トシテハ既ニ一致セル英國ノ輿論ヲ支持セント欲スト述ヘ「ロイド・ジョージ」「ランシマン」ハ失敗ハ寧ロ当然ノ成行ナリト語リ「ナショナル・リベラル・フェデレーション」ハ十七日ノ委員会ニ於テ自由党議員ニ對シ英外相ノ失敗ヲ詰問ス可キヲ懸念セル決議ヲ通過セル趣ノ記事夫々掲載セラル尚首相ハ十七日議會ニ於テ「マクドナルド」ノ質問ニ答へ政府ハ最近ノ期間ニ於テ外相ヲシテ今回會議ノ模様報告セシム可シト述ヘタリ

在欧各大使、波蘭、西班牙、瑞典、「チェック」ニ郵報セリ

四八 三月二十日(着) 在独國伊藤臨時代理大使ヨリ  
ジュネーヴ會議決裂後ノドイツ政局ノ發展

ニ端緒ヲ發ス若シ外相カ今回ハ理事会改革ヲ論セス専獨逸ノ加入ノミヲ議ス可キ事ヲ予メ声明シタランニハ円満ナル解決ヲ見タルナラント論ス

自由党新聞ハ依然外相ノ攻撃ヲ統ケ Manchester Guardian ハ吾人ノ将来望ム處ハ英國カ今少シ連盟ニ理解ヲ有スル責任感念強キ代表者ヲ送ルニ在リ今回理事会改革ヲ委員会ニ付託シタルハ仮令初ヨリ同問題ト獨逸ノ加入トヲ離シタランニハ誤解無カリシナラント述ヘ Westminster Gazette ハ外相ノ如キ頑迷愚鈍ノ徒ニハ希望ヲ述フルモ益無シト罵倒シ Daily News ハ外相ノ辭職ヲ慙通シ略々前掲「スタンダード」ト同様ノ議論ヲ掲ケ「ヘラルド」ハ伯刺西爾ノ態度ハ「ムソリニー」ノ思想ニ基クトシ一國カ理事会ノ活動ヲ全然停止シ得ルノ制度ノ変更ヲ必要トシ失敗ノ原因ハ英國政府カ確乎タル態度ニ出テナリシニ存スト述ヘ前記「スタンダード」ノ所論ヲ引用シタル後外相ハ義ニ首相カ議會ニ於テ為シタル声明ヲ裏切り議會及同僚ヲ誤ラシメ失敗ニ加フルニ欺瞞ノ罪ヲ犯セリ若シ彼ニシテ辭職セサレハ宜シク免職セシム可シト極論ス尙 Manchester Guardian 紙ニ「マクドナルド」ハ獨逸ノ加入延期ハ概嘆ニ堪エス之

#### ツキ報告ノ件

##### 第三〇号

連盟總会ノ結果ニ對スル當地新聞ノ論調ハ往電第一九号ノ通ナル處政府ハ一両日中議會外交委員会ニ報告シ來週初ヨリ本議會ニ於テ一般討議ヲ開始スル筈ナリ右ニ関シ各政党領袖連ト会談ノ結果ニ依レハ獨逸政局ノ發展ハ大要左ノ如クナル可シ

〔一〕連盟總会カ獨逸加入問題ヲ決定セサリシニ對シ一般ニ不安ヲ感シ居レルカ國権党ハ之ヲ以テ現内閣ノ外交上ノ失敗ナリトシテ政府ヲ攻撃シ「ロカルノ」條約ハ最早存続セラルモノト見做ス可ク又連盟加入ノ申込ヲ撤回ス可シトナス〔二〕右國権党ノ攻撃ハ一般ニ選挙民ニ對スル党略上ノ必要ニ出テタルモノト見做サレ政府党ハ勿論社会党モ右攻撃ニ對シ現内閣ヲ支持ス可シ共産党ノ態度ニ關シテハ右党側カ政府反対ナリト信シ居レルモ左党側ハ同党カ労働階級ノ信望ヲ失ヒツツ有ル今日右党ト行動ヲ共ニセサル可シト予想シ居レリ

〔三〕議會ノ形勢右ノ如クナルヲ以テ政府殊ニ外相ニ對スル攻撃ハ相当激烈ナランモ之カ為内閣ノ危機ヲ釀成スルカ如キ

## 二 國際連盟理事増員問題 四九

五六

事無カル可シト信セラル現ニ國權党領袖ノ一人モ内閣總辭職ト迄ハ行カサル可シト内話セリ故ニ突發の事變無キ限り目下ノ處委員会問題ノ為内閣更迭ハ無カル可シ  
英、仏、伊、白、瑞典、波蘭、「チエック」、米、伯ニ暗送セリ

四九 三月二十日(着) 在獨國伊藤臨時代理大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

### ジユネーヴ會議ニ関スルドイツ国内ノ情報報

#### 告ノ件

第二一號

寿府會議情報

(一) 各般ノ問題ニ付独逸ト複雜ナル關係ヲ有スル波蘭ノ理事問題カ独逸全權ノ反対ニ依リ立消トナリタルニ対シ独逸政界ハ各派共満足シ居レリ(社會黨一領袖ノ内話ニ依レハ先ツ波蘭力理事ニ選任セラルルカ如キ事有リシナラハ社會黨ハ現内閣ノ倒壊ニ与スルニ至リシナルヘシトノコトニテ以テ独逸ノ波蘭ニ対スル反感ノ度ヲ推知スヘシ  
(二) 増員問題ニ対スル瑞典ノ反対ハ当地ニテハ一般ニ独逸ノ指金ニ出ツルモノト信セラレ之ニ關シ瑞獨間ニ默契有リト一説トシテ申進ス

在歐州各大使、西班牙、瑞典、波蘭へ暗送セリ

五〇 三月二十五日(着) 在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

英國下院ニ於ケル連盟理事会ノ問題ノ討議二

ツキ報告ノ件

第五四號

二十三日下院ニ於テ今次ノ理事会ニ於ケル失敗ヲ諒トスル外務省予算削減案自由党ヨリ提出セラレ「ロイド・ジョージ」「マクドナルド」其ノ他反対党二、三ノ議員ヨリ外相ヲ攻撃シ外相及首相之ニ応酬シタルカ外相ハ反対党攻撃ノ論点カ總テ事態ノ真相ヲ知ラサル臆断ニ出ツル事ヲ指摘シ  
(一) 「ブリアン」トノ間ニ波蘭ヲ支持スヘキ約束ヲナシ

ノ説專ラ行ハル又独逸ノ同意ヲ条件トシテ非常任理事ヲ辞

職スヘシトノ瑞典ノ提案ハ當時逸速ク当地ニ伝ハリ柏林外交界ニテハ瑞典ハ独立自主ノ外交ヲ為サス独逸ノ為ニ外交ヲ為シ居ルモノトシテ冷笑シ居レリ尚西班牙大使館側ハ西

班牙カ連盟脱退ノ決意迄示シタルハ單ニ自國ノ利益ノミニ非瑞典カ右ノ如ク独逸ノ急先鋒ヲ承リ居ルニ対抗スル意味モ有リタリト内話セリ

(三) 十八日英外務省ヨリ当地ニ達セル情報ニ依レハ本年二月十六日伯刺西爾外相ハ独逸公使ニ対シ独逸常任理事選任ト同時ニ伯刺西爾モ亦常任理事ニ選任セラルルニ非サレハ伯刺西爾ハ独逸ノ常任理事問題ニ関シ否認權ヲ行使スヘシト

通告セル由ナリ從テ独逸ハ伯刺西爾ノ態度ニ闕シ夙ニ承知ノ筈ニテ石井全權堯閣下宛電報第二二号中英外相カ伯刺西爾ニ対シ前言ヲ取消シタルモ此ノ辺ノ事情判明セルカ為ニ非ヤト思考ス

当地ニテハ前記瑞獨提携ニ対シ伯刺西爾ノ背後ニハ伊国アリトノ説行ハル其ノ理由ニ闕シ國權黨議員ニシテ外交委員会委員ナル「ヘッヂ」ノ内話ニ依レハ客年「ロカルノ」會議ノ際伊国宰相ハ突然「ブレンナー」國境保障問題ヲ提起

タリトノ説ヲ絶対ニ否認シ「ブリアン」ノ意見ハ單ニ闕議ニ報告スル為メニ尋ねタル迄ニシテ何等「コンミット」セサリシ事(一)「ロイド・ジョージ」ノ与ヘタル土耳古支持ノ約束ヲ renew シタルノ外ハ波蘭、伯刺西爾其他何レノ國ニ対シテモ何等言質ヲ与ヘサリシ事(三)他國ノ理事國加入要求ヲ予メ退ケタランニハ問題ノ紛糾ヲ避ケ得タリシナルヘシトノ論ハ英國代表カ great dictator トシテ他國ヲ指令シ得ヘシトナスモノニシテ連盟ノ本質ヲ全然外視セルモノナル事(四)伯刺西爾ノ態度ニ付テハ独逸力各理事國ニ同國ノ理事会加入ニ対スル意向ヲ質シタル一九二四年九月ノ書面ニ対シ伯刺西爾独リ他諸國ト全然異ナリタル回答ヲ発シ其ノ内容ハ右両國以外ハ何國モ之ヲ知ラス寿府ニ於テ初メテ分明シタル次第ニシテ之誤解ノ種トナリタルモノナル事(五)自分ハ寿府ニ於テ自己ノ裁量ニ依リ時局ノ發展ニ応シ最善ノ方法ヲ講スル条件ノ下ニ確固タル政府ノ訓令ヲ有シタリトテ  
(一) 独逸ノ加入ヲ妨ケ又ハ遲延セシムルニ至ルヘキ理事会ノ変更ハ之ヲ認メス(二) 大國ノミ常任理事タルノ主義ヲ支持スヘキコト(三) 西班牙ニ対シテハ後日特別ノ考慮ヲ払フコト四

波蘭及伯刺西爾ハ今日直ニ常任理事タラシメス波蘭ハナル  
ヘク速ニ非常任理事タルヘキコト即チ訓令ノ内容ナリト発  
表シ所謂「フリートハンド」ヲ弄ヒタリトノ非難ヲ斥ケ独逸

ノ加入カ何等「ロカルニスト」間ノ争論ニ依リ妨ケラレタ  
ルニ非サルコトヲ上ケ独逸トノ reconciliation ノ基礎トシ

テ英獨協調ヲ更ニ強メ英國ノ威信ヲ其ノ最高ノ程度ニ高メ  
タリト述フ首相ハ理事会構成ニ関スル新委員会ニ独逸カ均  
等ノ地歩ヲ以テ加入スルコトヲ承諾スヘキヲ期待シ又大國

ノミ常任理事タルノ主義ヲ支持スヘキコトヲ承認シ外相ニ

対シ政府カ全幅ノ信任ヲ有スルコトヲ披瀝シタリ当日ノ討  
論ハ午後四時頃ヨリ十一時過ニ及ヒ採決ノ結果三二五對一  
三六ノ多數ヲ以テ予算削減案ヲ否決シ政府ノ態度ヲ承認シ  
タリ本件討議ニ対シテハ一般ハ右外相ノ説明ニ満足シ若シ  
前回下院ニ於ケル本件討議ノ際及「バアミンガム」ニ於ケ  
ル外相ノ演説ノ際今回ノ如キ詳細ナル説明ヲ為シタラシニ  
ハ問題ハ此ノ如ク紛糾スルニ至ラスシテ止ミタルヘシト観  
測サルモノノ如シ

五一 三月三十一日 在スウェーデン国永井公使ヨリ  
幣原外務大臣宛

普通第六〇号

大正十五年三月三十一日

在瑞典

特命全權公使 永井 松三（印）

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

寿府ニ於ケル瑞典外相ノ措置振ニ閲スル論争

ニ付報告ノ件

本年三月ノ通常理事会及臨時總会ニ於テ問題トナリタル理  
事会拡張問題ニ閲シ瑞典カ主義上ノ見地ヨリ西、伯、波ノ  
常任理事國昇格ニ絶対反対ノ態度ニ出ツヘキコトハ當時進  
報致置キタルカ寿府ニ向ケ出発前三月五日外務大臣「ウン  
デン」氏カ議会ニ於テ為シタル演説伝訳瑞典外務省ヨリ送  
付アリ別紙甲号即之ナリ

寿府交渉ノ末期ニ及ヒ瑞典外相カ白耳義外相ノ懇意ニ依リ

非常任理事國一國ヲ増加シ波蘭ニ此ノ地位ヲ与ヘムトスル  
ノ提議ニ賛成シタリトノ新聞情報アリシモ贊意表示ハ虚報  
ニシテ當時政府ハ外相ヨリ本件ニ閲シ請訓アリタルニ対シ

非常任理事國ノ増加ニモ反対スヘキ旨ヲ訓令シタルカ後程  
ナク外相カ自國ノ非常任理事ノ地位ヲ棄テ波蘭ノ選出ニ  
便セムトスルノ提議当地ニ伝ハルヤ輿論ハ失望ト怨嗟トヲ  
以テ之ヲ迎へ右党諸新聞ハ筆ヲ揃ヘテ外相ヲ攻撃シ第一ニ  
本国政府ニ訓令ヲ請ハスシテ該提議ヲ為シタルコト第二ニ  
外相ニ於テ当初ノ態度ヲ変更シ又ハ讓歩ヲ為シタル結果固  
ノ威信ヲ傷ケタルコト第三ニ瑞典ノ犠牲的精神ハ他國ノ模  
倣スル所トナラス折角ノ弁法ハ円満解決ヲ招来スルニ足ラ  
サリシコトヲ指摘シテ政府ヲ糾弾シ一時世間ニ外相辞職説  
スラ流布スルニ至レリ

當時政府ハ沈黙ヲ守リ与党新聞ハ充分事情ノ闡明セラレサ  
ル以前ニ於テ軽卒ナル批評ヲ試ムルノ不可ナルコトヲ論シ  
タル迄ナリシカ寿府ヨリ帰來セル瑞典第二代表「レフグレ  
ン」氏ハ三月二十二日自由党俱樂部ニ於テ演説ヲ試ミ次テ  
答弁中前掲右党諸新聞ノ攻撃ニ答へ其第一点ニ閲シテハ瑞  
典代表ハ西、伯、波等ノ非常任理事國昇格ニ依リ理事会ヲ  
拡張スルコトニ反対スルト同時ニ独逸ノ連盟ニ加入シ常任  
理事國トナルコトニ閔シテハ積極的ニ努力スルノ任務ヲ有

ノ斡旋及発議ハ決シテ徒事ナラサルコトヲ高調シタリ

首相ハ議会ニ於ケル答弁其他ノ機会ニ於テ常ニ外相ヲ支持シ政府ハ外相ト連帶責任ヲ執ル旨ヲ声明シタルカ故ニ右党側ノ攻撃ニ拘ハラス本問題ノ為當国内閣ノ一部ニ亀裂ヲ生スルカ如キコトナクシテ經過シタリ茲ニ三月二十二日「レフグレン」氏ノ自由党俱楽部ニ於テ為シタル演説要領仮訳別紙乙号三月二十四日總理大臣及外務大臣ノ議会ニ於テ為シタル演説要領仮訳別紙丙号及同日首領株議員ノ為シタル演説要領仮訳別紙丁号何等御参考迄ニ劉覽ニ供ス右保守党首領反対演説ハ殊ニ激越ノ語調ナリシヤニ伝聞スルモ其内容ニ至リテハ要領仮文ニ微スルモ深酷ナリト謂フヲ得ス右演説後數日ニシテ本使親シク「トリゲル」氏ノ説ヲ叩クノ機会アリタルカ其所要スルニ自国外相カ大國政治家殊ニ「ブリアン」氏ノ為ニ籠絡セラレタルヲ憤慨スルニ在リト謂フヲ得ヘシ歐州政局上閑却スヘカラサル独逸加入ニ極力尽力スルコトニ付テハ現政府ト所信ヲニスルモ唯殉難者ニ急変セルハ眞ノ愛國ノ士ノ執ルヘキ途ニ非スト悲憤シ主義ヨリモ寧ロ手段ニ巧拙ニ着眼攻撃スルモノト認メラレタリ他方首相ノ態度ハ前叙ノ如クナルカ議会討論ノ當日同相邸晩餐後本使トノ對話中瑞典トシテハ主義格守ヲ

的輿論ノ支持ヲ得テ意ノ如ク大勢ヲ左右シ得タルハ誠ニ愉快ナリキト結ヘリ

以上縷陳シタル所ヲ以テ是ヲ觀レハ極力國際連盟ヲ支持セムトスル第二「インターナシヨナル」ノ政綱ヲ奉スル「ソシアルデモクラテン」ノ現政府ハ将来モ大体從來ノ方針ヲ踏襲シ一面常任理事国增加ニ反対シ独逸ノ連盟加入ヲ促進スルト同時ニ他面非常任理事国ノ增加及非常任理事国改選問題ノ裡ニ懸案解決ノ鍵鏑ヲ求メムトスルモノト推測セラル以上何等御参考迄ニ報告申進ス

本信写送先 石井理事

編註 別紙甲乙丙丁号省略

五二 四月三日(着) 在パリ杉村連盟事務局次長ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

連盟理事会組織ニ関スル委員会委員ニ対スル

訓令案ノ件

連第六五号

石井理事ヨリ

寿府往電第二八号ニ關シ

事務総長ヨリ理事会組織ニ關スル委員会ノ本邦委員名選定

目標トシ之ヲ遵奉スル上ニ於テ政府今回ノ措置ニ何等歎シキ所ナシニ関係國カ瑞典ニ対シ不満ヲ抱クカ如キハ主旨ヲ汲マサルノ甚シキモノナリト述へ得意氣ニ見ヘタリクニ彼ハ「ウンデン」外相ニ対スル圧迫カ主トシテ「チエンバーレン」氏ヨリ來レルハ意外ニシテ「チ」氏ノ寿府其他ニ於ケル不評判ハ實ニ之ニ基ケリト云ヒ瑞典カ非常任理事ノ地位ヲ去ラムトシタルハ全然外相ノ發案ナルニ各種ノ説行ハレ諸外國人ハ勿論我カ国人中自由代表ノ行動ヲ正解セサル者多キハ実ニ驚クニ堪ヘタリト述へ常任理事増員問題ニ關シテハ我國力断乎トシテ之ニ反対スルノ外主義上反対ノ國多ク英國モ亦態度ヲ変更スヘシト信セラルルカ故ニ恐ラク本件ハ最早問題トナラサルヘシ我方ヨリ特別委員会ニ亞爾然丁ヲ招請セムコトヲ提議シタルハ伯刺西爾ヲ牽制セムカ為ナリト説キ若シ特別委員会ニシテ何等カノ協定ニ達シ得ルモノトスレハ非常任理事国ヲ二箇国增加スルコトトナルニ非サルナキカ此ノ案ナレハ總会ヲ代表スル理事會ニシテハ常任理事國ヲ拡充スル次第故瑞典政府ニ於テモ考慮ノ余地アリト信スト云ヒ瑞典ハ常ニ自主的ニ行動シ國際

二 國際連盟理事増員問題 五三

六二

ノ例外ヲ設ケントノ説<sup>ソロゾ</sup>徐々新聞ニ見エ出シタルカ右ハ規約ノ改正ヲ要シ且連盟超國家ノ因トナルヘキニ付反対然ルヘシト存ス

(3)常任非常任ノ數ノ關係ハ必ス問題ニ上ルヘキ処御承知ノ如ク始メ規約草案ニハ常任五ヶ国非常任二ヶ国トアリシヲ斯テハ余リニ懸隔アリトテ後者ヲ四ヶ国トナセル外一九二一年更ニ二ヶ国ヲ加ヘテ六ヶ国トセル行懸ニテ之トテ常任

ハ早晚米独露ノ加入アリテ七ヶ国トナルヘキニ付常任多数

ノ原則ニ反セスト云ヒ得可シトノ説明ヲ付シタルコトナレハ常任多数ハ規約ノ精神タルニ相違ナキモ總会小国側ニ於

テハ自分等ノ選挙ニ出ツル非常任ノ方ヲ多数トナシ以テ理

事会ニ於ケル總会ノ勢力ヲ増サントノ意見漸次盛大トナリ

今日ハ此大勢ニ反抗スルモノハ小国側ヨリ反感ヲ受ク可ク

一方理事会ニ於テ非常任ノ方多数ヲ占ムルモ彼等ノ横暴ヲ

來スノ憂ナキハ現状ノ証明スル處ナレハ本件ニ付テハ我委員モ理事モ大勢ニ反抗セサルヲ得策ト存ス

但「ユナニミテ」ノ規定ヲ廢シ「マジョリティー」ノ制度ヲ執ルコトセハ此問題ノ性質一変スヘキニ付旁「ユナニミテ」ノ現行制ヲ維持スルノ要アリト思考ス

連盟事務局ニ暗送シ前記連第六五号同事務局ヨリ貴官ニ転送セシメラレタシ

(付記)

大正十五年四月

「連盟理事國(主トシテ非常任理事國)  
選定方法ニ關スル諸提案表」

今般独逸ノ連盟加入問題ニ関連シテ生シタル連盟理事増員問題ハ連盟創立以來始メテノ大紛糾ヲ釀シ解決ヲ見ルニ至ラサリシ結果一ノ委員会ヲ設ケテ理事会ノ組織ヲ研究セシムルコトニ決定シタルカ理事会ノ組織ニ關スル規約第四条ニ關シテハ第一回連盟總会前及其ノ當時諸種ノ改正提案アリ(註一)右諸提案ハ前記ノ理事会組織研究上参考タルヘキモノアルヲ以テ茲ニ之ヲ表示セントス(註二)(註三)

(註一)此等諸提案ハ第一回連盟總会ノ決議ニ依リ規約改

提案國名	事項	選挙方法	任期	期	再選	配分	其ノ他
一、亞爾然丁 シ、各改選期毎二五年 箇国タケ再選シ得ル モノトシ他ノ四國ハ	理事國ヲ九箇國ト シ、各改選期毎二五年	四年					亞國ノ提案ハ理事中 常任及非常任ノ區別 ヲ為ササル唯一ノ提 案ナリ

四連盟ヲ大陸的ニ区分シ中央連盟ハ各部ニ通用スル事項ノミヲ扱フコトトシ此基礎ノ下ニ理事会ヲ改造セントノ議ハ規約ノ改正ノミナラス連盟ノ改造ニシテ斯カル説カ行ハルレハ亞細亞ノ現状カ連盟部局ヲ設クルニ達セサル結果日本ハ事実連盟以外ニ置カルルニ至ル可ク此説ハ是非共排斥スルノ要アル可シ

五三 四月十日 幣原外務大臣ヨリ  
在オランダ國松田公使宛(電報)

連盟理事会組織ニ關スル委員會委員ニ松田公

使ヲ任命ノ件

付記

大正十五年四月

「連盟理事國(主トシテ非常任理事國)  
選定方法ニ關スル諸提案表」

第一〇号

理事会組織研究委員會ニハ貴官御出席相成度石井理事來電本大臣宛連第六五号ノ趣旨ニ依リ然ルヘク御措置アリタシ尚土耳其海峽條約第十八条第二項ハ理事会決議カ全会一致ヲ要ストノ原則ヲ前提トシ我が國之ニ署名シタル次第二付キ此ノ儀御含置アリタシ

正委員會ニ付議セラレタルカ第二回總会ハ右委員會ノ報告ニ基キ第四条第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フルコトヲ決議シ非常任理事國ノ選定ニ關スル規則ヲ總会ニ於テ定ムルコトセリ尤モ右改正ハ未タ規約第二十六条ニ依リ効力ヲ生スルニ至ラス

「連盟總會ハ連盟理事会非常任代表國ノ選挙ニ關スル規則特ニ其ノ任期及再選ニ關スル規則ヲ三分ノ二ノ多数ニ依リ定ムヘシ」

(註二)左記ノ諸提案中亞爾然丁以外ノ提案ハ全部非常任理事ニノミ關スルモノナリ

(註三)非常任理事國ノ數ハ一九二二年ノ第三回總会ニ於テ四國ヨリ六國ニ増加セラレタリ尚總テノ非常任理事國ハ毎年總會ニ於テ選挙シ居レリ

リ  
カヘキ旨回答シ置ケルモ理事会構成ノ根本問題研究委員会  
カ本月十日ヨリ開催セラルルニ鑑ミ帝国政府トシテハ右研  
究ノ結果ヲ待ツテ更ニ考慮シ度キ意向ナル」旨回答シ置ケ

西班牙公使ヨリ政府ノ訓令ニ依ル趣ヲ以テ来ル理事会ニ於

テ日本代表カ同國ノ常任理事事問題ニ関シ好意的態度ヲ採ラ  
ルル様訓令アリタキ旨公文ヲ以テ申出テタルニ付八日付ヲ  
以テ「同國從來ノ申出ニ對シテハ其ノ都度好意的考慮ヲ加

二 國際連盟理事增員問題 五四 五五

五五 六月二日(着) 在仙國石井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

二 國際連盟理事増員問題 五六

六六

常任理事増員問題二閲スル理事会ニ於ケル方

針ニツキ請訓ノ件

連第一〇九号

理事会組織委員会後松田公使ト面晤シタル處多數ノ意見ハ

常任理事ヲ五大國ニ限り非常任ヲ三名増員シテ九名トナシ

其ノ内三国ニハ再選ノ特權ヲ与フルコトトシ西班牙伯刺西

爾波蘭ニ各右特權國タルノ望ヲ暗ニ与ヘテ泣寢入ラシムル

ニアルカ如ク英國ノ如キハ西班牙其他カ之ニテモ尚不満足

ナレハ夫レ迄トシ彼等ノ進退ヲ顧ミサルノ決心ラシク思ハ

ル在西班牙公使宛貴電第二三号閣下カ西班牙公使ニ答ヘラ

レタル處ハ恰モ本使カ電稟セント思ヒ居リタル處ニシテ去

ル三月ノ理事会ニ於テ意見ノアラン限リヲ尽シ更ニ組織委

員会ヲ設クルコトトナリタル以上常任理事問題ニ閲シ從來

各政府間ニ行ハレタル意見ノ交換乃至約束ナルモノハ茲ニ

新局面ニ接シ自然消滅シタルモノト觀ルヲ時宜ニ適シタル

モノト存ス就テハ来ル理事会ニ於テ本件ニ閲シ同僚間ニ内

議アル際ハ右理由ニ依リ英政府ノ新態度ヲ援助シ伯刺西爾

西班牙ヲ以テ其ノ主張ヲ枉ケサルニ於テハ此ノ上援助ヲ打

切ルコト致度本使ハ五日寿府ニ向フ可キニ付何分ノ御訓

示寿府宛ニテ御電報請フ  
伯、西、波蘭へ転電シ英、白、独、伊、和蘭、瑞典、米ヘ  
暗送セリ

五六 六月十四日 在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛

國際連盟理事会ニ於ケル仏國ノ勢力失墜説報

告ノ件

公第三一九号

大正十五年六月十四日

在英

特命全權大使男爵 松井 慶四郎 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

國際連盟理事会ニ於ケル仏國ノ勢力失墜説ニ

閑シ報告ノ件

本月十三日ノ「オブザーバー」ハ連盟理事会ノ最近ノ形勢ハ一般ニ仏國ノ權威ヲ甚シク失墜スルノ結果ヲ來シ西班牙及伯刺西爾ノ理事會員辭任ハ理事会ニ於ケル仏國ノ勢力ヲ薄弱ナラシムルノミナラス特ニ西班牙ノ辭任ハ「モロツコ」ニ於ケル地位及地中海全般ニ於ケル勢力均衡ニ閲スル

将来ノ商議ヲ著シク偏頗ナラシムルモノト謂フヘク又波蘭

ニ於テハ「ピ尔斯ドスキ」元帥ノ政權獲得ノ結果又智恵古

ニ於テハ同國産業上英國資本ノ增大ノ結果此ノ両国カ何レ

モ其ノ態度ヲ變シタルカ為仏國ノ勢力ハ既ニ動搖ヲ來シタ

ルモノナルカ匈牙利紙幣偽造制裁問題ヲ九月迄延期シタル

コトノ如キ亦仏國ノ退勢ヲ示ス一例ト見ルヘク此等ノ事例

カ独逸ノ連盟加入前起リ得トセハ同國ノ加入後事態ハ如何

ニ成行クヘキヤ最近仏國ニ於テ外國トノ新友好關係ヲ目的

トル諸種ノ運動活発トナリタルハ此等事態ニ對スル憂慮

ニ基クモノニシテ白耳義仏國及伊太利間ノ貨幣同盟説ノ如

キ即チ此運動ノ一例ナリトノ趣旨ノ巴里通信ヲ掲載セリ右

ハ連盟理事会構成問題ノ成行ニ閲シ當國方面ニ於ケル一部

ノ観測ヲ示スモノトシテ多少参考ノ価値アリト認メラル

ニ付右報告申進ス

本信写送付先 在仏大使宛

五七 九月一日 在ジユネーヴ會議全權ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

非常任理事問題第二読会案ニツキ請訓ノ件

(九月二日接受)

第三号

第一号

二 國際連盟理事増員問題 五七 五八

六七

五八 九月二日 在ジユネーヴ會議全權ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

常任理事問題ニ閲スル委員會ノ討議ニツキ報

告ノ件

佐藤ヨリ

往電第二号ニ閲シ本一日午後ノ委員会ニ於テ西班牙常任問題ヲ討議ス  
劈頭西班牙ハ其常任要求ノ理由ハ第一回會議ニ

於テ詳説シタレハ茲ニ之ヲ繰返サスト述フ仏英ハ大体西班牙從来ノ連盟ニ對シテナシタル貢献ヲ賞讃シ今後モ其貴重ナル協力ヲ惜シマサラン事ヲ希望シ第一読会案三更ニ數歩進メ常任要求國ノ主張ヲ容レタル第一読会案ヲ西國政府カ研究セン事ヲ切望ス本官ハ西國ノ要求ニ對シテハ從來トテ好意ヲ以テ考慮シ來タレモ最近事態ノ紛糾予想外ニ出テ日本ノ友好的關係ヲ有スル伯、波、支等ヨリ同様ノ要求続出スルニ至リ伯ハ遂ニ連盟ヲ脱退シタルモ日本ハ一日モ速ニ復帰セン事ヲ望ムモノニシテ波蘭ニ對シテハ友好的考慮ヲ加ヘサルヲ得ス又現隣國タル支那ノ要求ハ地理的分布ノ主義ニモ叶フ次第ナリトテ暗ニ西カ主張ヲ固執セハ事件ノ紛乱到底收拾スヘカラサルヲ仄メカシ英仏ト同様第二読会案ノ研究ヲ勧誘ス伊白モ英仏ト同一ノ論議ヲ以テ可成リ強ク勧誘シ独逸ハ西國カ從来ノ如ク理事会ニ居ル事ヲ希望シタル後未加入國ノ故ヲ以テ棄權ス支那ハ西ノ要求ヲ支持スルト同時ニ自國ノ要求ヲ支持シ独以外ニ常任ヲ与フル場

合ニハ自國ニモ之ヲ与ヘヨト主張ス波蘭ハ其要求ハ之ヲ棄止ヲ其ノ理想トセルモ現存ノ常任ハ既定事實トシテ當分之ヲ認ム併シ新ナル常任ハ遺憾乍ラ認メ難シ「独逸ヲ除ク」トナス瑞典ハ常任ハ規約起草ノ中ノ所謂大国ノミニ限ルヘキモノトシ「チエツコ」第二読会案カ現存ノ危機解決ノ最良方法ナルヘシト述フ議長瑞西モ連盟ノ利益ノ為遺憾乍ラ西班牙ニ満足ヲ与ヘ難シトシ委員会ノ名ニ於テ西班牙ニ訴フル處アリ西班牙ハ一同ノ言辭ヲ謝シタル後斯クシテ各委員ノ意見ヲ明ニシ得タラハ同國ノ第二回會議ヲ要求シタルハ徒爾ニ非ス自分ハ各委員ノ意見及希望ヲ西國政府ニ伝フ可シト簡單ニ述フ

茲ニ於テ議長ハ別ニ投票ヲ為サス委員会ハ「独逸加入ノ際之ニ常任ヲ与フベキコトニ付テハ問題ナシ」トノ意見ナルコトヲ認ムト宣言シテ議事ヲ閉ス  
明日午後理事会ニ對スル報告案ヲ審議ノ筈英、仏、独、伊、白、西班牙へ暗送セリ

五九 九月二一・三日 在ジュネーヴ會議全權ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

### 非常任理事問題第二読会案採択ニ至レル経過

#### 報告ノ件

第六号 （九月三一・四日接受）

佐藤ヨリ

往電第一号及第二号ニ閲シ

非常任理事問題第二読会案採択ニ至レル経過大略左ノ如シ（重ニ小委員会ニ於ケル非公開討議ノ経過）

第一条 委員会ノ大多數ハ伯刺西爾カ脱退シタルニ拘ハラス非常任ヲ九ニ増サントノ意見ニテ此ノ点ニ付テハ殆ント論議ヲ見ス只伊国カ第一読会ノ際ト同シク理事全数ヲ一四ニ決定シ常任カ独逸ヲ加ヘタル五国以上ニ増加セラルル場合ニハ夫レ文非常任ヲ減スヘシトノ留保ヲ為シタルト瑞典カ現在ノ危機ヲ解決シ得ルコトヲ条件トシテ此増加ニ同意スヘシト述ヘタルノミ

依テ本官ハ杉村局長宛貴電第一二六号冒頭ノ次第ハアリタルモ大勢ニ順応シ別ニ反対ヲ為サス

第一条 第一読会案ヲ其儘採択ス從来ノ慣例ニ反シ非常

合ニハ自國ニモ之ヲ与ヘヨト主張ス波蘭ハ其要求ハ之ヲ棄テサルモ現在ノ危機解決ノ為第二読会案ニ賛スル旨ヲ述ヘテ棄権ス

## 二 國際連盟理事増員問題 五九

七〇

ヲ主張セシモ第一読会ニテハ満足ヲ得ス留保ヲ為シ置キタリ其ノ後波蘭ハ七月三十一日付ノ覚書ヲ以テ再ヒ其ノ主張ヲ繰リ返シタル結果（杉村局長発往電連第一五二号参照）仏國ハ波蘭ニ満足ヲ与フル為メ修正案（二ノ一）ヲ案出シ委員会今回會議前英獨ノ内諾ヲ取り付ケタル次第ナリ（往電第一二七号及第一二八号参照）然ルニ右仏国外務部案ハ過渡的措置トシテ本年三再選資格者ヲ設ケ得ルト同時ニ尚未過渡時代タル一九二六年ヨリ一九二九年ノ間ニ再選資格付与ノ原則規定タル第三条（第一読会案二ノ第一項）ノ適用ヲモナシ得トスルモノニシテ資格要求国ニ対シテハ二重ノ保障アル如ク見ユルモ又同時ニ三人以上多数ノ再選資格者ヲ続出セシメ再選資格ノ価値薄弱トナリ資格者間ニ再選競争猛烈トナルノ結果ヲ來シ得ヘク波蘭ハ之ヲ恐レテ再選者資格者ヲ設クルハ今後三年間ハ德義上其レ以上ハ設ケ得スト主張シ波蘭ニ満足ヲ与ヘントシテ作リタル此ノ案ハ同國ノ異議ヲ見ルノ奇妙ナル結果ヲ生シ議論ノ紛糾ヲ見タリ即チ問題ハ過渡的措置トシテ本年三国迄ノ再選資格者ヲ造りタル場合尙ホ今後三年間ノ過渡的時代ニ第三条ノ原則規定

為シ得ヘシ（例外ノ場合ナルヤ否ヤハ總会三分ノ二ノ決議ニ依リ決ス）トノ妥協案ニ落着タリ波蘭ハ（不明）中モ尚総会カ第三条ノ権利ヲ行使セムコトヲ寧勸誘スルモノナリトテ留保シタルモ敢テ反対ハセサリキ

第四条第一項  
仏國修正案（四ノ第一項）ハ過渡的規定トシテ新選舉規定効力發生ノ場合九理事ニ一律ニ三年ノ任期ヲ与ヘ一九二七、二八年ニ改選セラル可キ三理事ヲ抽籤ニ依リ決定セム事ヲ提議シタリ

第一読会案ノ五ニ依ル時ハ本件選舉ノ際九理事中ニ三階級ヲ作ラムトスルモノニシテ非「デモクラチック」ナリトノ少國ヨリノ不平ヲ緩和セムトノ趣旨ニ出テシモノナル可ケレトモ委員会多數ノ意見ハ總会ハ其ノ當時ノ政情ヲ考慮シ其ノ裁量ニ依リ右三階級ヲ作リ得ヘク又抽籤ニヨル時ハ一般ノ希望カ或国ヲ理事会ニ留メタキニ拘ハラス之ヲ去ラシムル結果ヲ來タスノ不都合アリトシ独逸瑞典ハ抽籤ニ依ラサル時ハ總会ハ三階級ヲ作ル為メ非常ニ当惑スヘシトテ抽籤ヲ主張シタルモ遂ニ譲レリ

第四条第二項

二 國際連盟理事増員問題 五九

ヲ適用シ新ナル資格者ヲ造リ得ヘキヤ否ヤノ点ナリ

委員会ノ大多数ハ第三条ハ再選資格者数ヲ制限シ居ラサル故仮令三国迄ノ資格者ヲ作ルモ總会ハ一九二七年二八年ノ三年後ニ來ルヘキ改選ヲ見越シテ与フル特權ナレハ萬一政

情ノ変遷等ニ依リ其後資格無キ或ル国ニ対シ新ニ之ヲ与ヘニ対シ資格ヲ与ヘ得ヘシ殊ニ本年与フヘキ資格ハ一年乃至三年後ニ來ルヘキ改選ヲ見越シテ与フル特權ナレハ萬一政

理事會ニ止マラシムル必要生スルカ如キコト事實上アリ得ヘシトノ意見ニテ独逸瑞典ノ如キハ斯クスルコトカ即チ總會ノ主權ヲ保持スル所以ナリト論ス

英ハスクシテ三国以上ニ資格ヲ与ヘタル場合ハ總会ハ其ノ何レヲ真ノ資格者トスルヤヲ決スヘシト為シタル結局第三条ニ於テハ第一読会案同様ノ原則ノミヲ維持シ過渡的規定トシテ第四条ヲ設ケ其ノ第三項ニ於テ本月ノ選舉ノ際一乃至三理事ニ対シ資格ヲ付与シ得ルム夫レハ一九二七、二八年ニ於テ理事會ヲ去ルヘキ理事ニ対シ第三条ニ依リ資格ヲ与フルコトヲ妨ケス（但既ニ去リタル理事ニハ適用ナシ即チ第三条ノ例外）併シ若シ一九二六年ニ只三国迄ノ資格者ヲ設ケタル場合ニハ總会ハ特ニ例外ノ場合ニ於テノミ之ヲ

方法トシテ九理事選舉ノ際投票用紙ニ「選舉資格者」ト云フ一字ヲ加フル事ヲ得ヘシ此ノ投票教カ投票者ノ三分ノ二以上ニ達シタル場合ハ最多數者三国ヲ再選資格者トセムヲ提議スルモノナルカスノ如キ重大ナル資格ヲ与フル場合ニハ之ヲ理事選舉ヨリ離シ總会ノ特別独立ノ投票ニ依リ之ヲ決スル方可ナリトノ意見多ク之ニ決シタリ

第一読会案

之ハ波蘭カ七月三十一日ノ覚書中ニ削除ヲ要求シタル点ニシテ西班牙外相ノ「ドラモンド」ニ内話シタル処ニ依ルモ西班牙ノ感情ヲ最モ傷ケタル条項ノ由ニテ英、白、獨、瑞典等ハ主義上之カ維持ヲ希望シタルモ強クハ主張セス遂ニ削除ニ決シタリ

蓋シ本項ハ規約第四条ノ修正カ未タ發効セサリシ第一読会ノ際ニ於テモ第四条ニ規定スル總会ノ權能ニ依リ總会ハ本項ナクトモ非常任理事ノ解任ヲナシ得ヘシトノ意見多カリシカ右修正カ効力ヲ發生シタル今日非常任理事ノ解任ヲ必要トスル如キ場合ニハ總会ハ三分ノ二ノ多數ヲ以テ選舉規定ヲ改正スルヲ得ヘシトノ意見ニテ左迄論議ヲ見サリキ

七一

## 二 國際連盟理事増員問題 六〇 六一

七二

英、仏、独、伊、白、西、瑞典へ暗送セリ

六〇 九月三日 在ジユネーヴ會議全權ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

委員会報告案ノ審議ニツキ報告ノ件

第七号  
往電第三号ニ閲シ  
(九月四日接受)

昨二日午後ノ委員会（公開）ニ於テ議長ノ起草ニ懸ル報告案ヲ審議ス西班牙委員ハ同國ノ常任要求否決ニ閲スル点余リニ婉曲ニ書カレタリトテ之ヲ明瞭ニセンコトヲ求ム委員会ハ可成此ノ点ハ婉曲ニ書キ同國ニ対シ事實上ノ満足ヲ与ヘントシタル努力ノ跡ヲ力説セムトノ腹ニテ種々ノ案出テシカ波蘭支那其常任要求ニ閲スル点ニ付修正ヲ求メ議論混雜ス依テ右報告案ヲ書直シ本三日午前ノ委員会（公開）ニ

テ再審議ノ上採択ス結局西班牙ノ非常任要求ニ閲スル部分ハ（各國委員ノ宣言ニ依レハ西班牙ノ資格及利益ヲ充分考

慮セントノ諸國ノ希望ニ拘ハラス委員会カ全会一致ヲ以テ

独逸ノ占ムヘキモノナリシタル一席ノ外ニ常任理事席新設ノ提案ヲ理事会ニ提出スル能ハサルコト明トナレリ右理

由ノ為甚々遺憾ナカラ本委員会ハ西班牙要求ノ採択ヲ理事會ニ付託セラレタリ

六一 九月四日 在ジユネーヴ會議全權ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

告ニ基ヅク決議案採択ノ件

第一号  
石井理事ヨリ  
(九月五日接受)

本四日午前ノ理事会（公開）ニ於テ理事会構成問題研究委員会ノ報

員会ノ報告ヲ審議ス本使本件報告者トシテ大要左ノ如キ決議案ヲ提出シ全会一致採択セラル（西班牙理事欠席）

理事会ハ（）理事会構成ニ閲スル委員会ノ報告ヲ是認ス

〔〕依テ規約第四条ニ基ク理事会ノ権限ニ依リ

〔〕独逸ヲ其ノ連盟加入後直ニ常任理事ニ指名スル事

〔〕非常任理事數ヲ九ニ増加スル事ヲ決シ

〔〕右兩決議ノ承認ヲ総会ニ勅告ス

〔〕非常任理事選挙方法及其ノ mandate の制度ニ閲スル委

員会ノ提案ヲ好意的ニ審査センコトヲ總会ニ勅告ス

尚委員会カ昨三日午前採択シタル決議（電報第七号）ハ

其ノ儘理事会決議トシ之ヲ西班牙理事ニ通達スル事ニ決ス

英、仏、独、伊、白、西班牙、蘭へ暗送セリ

六二 九月八日 在ジユネーヴ會議全權ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

トイツノ連盟加入、同國ヲ常任理事國ニ指定

及ビ非常任理事國增加ノ件等總会ニ於テ可決

セラレタル件

第二〇号

一一 國際連盟理事増員問題 六二 六三

会三勅誥スル能ハス）ト云フ一項ニ落着キタリ委員会尚右報告ノ外ニ英國委員ノ提案ニ依リ特別ノ一決議ヲ採択シ再選方法ニ依リ事實上非常任理事ヲ作り得ルコト再選資格付与ノ決議ハ之ニ威厳ト保障トヲ与フル為理事選挙トハ別ニ總会ノ特別投票ニ依ルコト最初ノ再選資格者ハ本年既ニ之ヲ作り得ルコト及總会ノ非常任理事解任ノ条項ヲ削除シタルコト等ハ皆之西班牙ニ對スル委員会全会一致ノ同情ヲ立証シ同國ノ希望ニ副ハントノ努力ヲ示スモノナリトシ西國政府カ之ヲ好意的ニ考慮センコトヲ切望セリ因ニ第一読会理事會報告書五ノ二項南米及亞細亞ノ理事席問題ニ閲スル部分ハ其儘右報告ニ記録セラレタリ

英、仏、独、伊、白、西、瑞典へ暗送セリ

六三 九月十六日（着） 在ジユネーヴ會議全權ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

六三 九月十六日（着） 在ジユネーヴ會議全權ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

## 理事選舉規定案總会ニ於テ採択ノ件

第三五号

往電第一〇号ニ閲シ

総会ヨリ付託セラレタル理事選舉規定案ハ十日ヨリノ第一委員会ニ於テ討議セラレ（安達大使出席）瑞典諾威丁抹和蘭等ノ理事数增加又ハ再選資格等ニ対スル反対アリタルモ大勢既ニ決シ小委員会（日本加入）ノ審議ニ修正ヲ經昨十四日ノ第一委員会及本十五日ノ総会ニ於テ全会一致採択ヲ見タリ其ノ内容左ノ如シ

先ツ総会カ規約第四条ニ基キ九非常任理事ノ選舉方法任期及再選資格ノ条件ヲ決スル旨ノ前文ヲ付ス

研究委員会第二読会案（往電第一号及第二号参照）ノ第一条ヲ削除シ別電第三六号（暗送電報）ノ如ク第二及第三条ヲ修正シ夫々新第一及第二条トシ第一読会案ノミラソノマ復活シテ新第三条トシ（諾威ノ強キ主張ノ如ク）第二読会案第四条ニ大体左ノ如キ修正ヲ加エテ新四条トス  
第一項ノ終ニ la procedure de ces élections sera fixée par le bureau de l'assemblée 並く第二項ノ vote spécial ノ後ニ secret, distinct pour chaque candidat et

和蘭、支那二年任期ニ当選シ白耳義「サルバドル」智恵古一年任期理事国トナル  
三、波蘭ハ直ニ選舉規定第四条（往電第三五号及第三六号参照）ニ基キ再選資格ヲ求メ秘密投票ノ結果三分ノ二以上ノ多數ニテ再選資格ヲ得タリ  
英、仏、独、伊、白、西、米ヘ郵報セリ

六五 九月十九日（着）  
在ポーランド國井上臨時代理公使  
ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）  
ポーランドノ半常任席獲得ニ関スル新聞論調  
報告ノ件

第四五号

独逸連盟加入ニ関シ當地右党紙ハ総会カ常任理事拡張反対ニ賛成シ独逸ノヲ加入セシメタルハ波蘭外交ノ失敗ニテ

pris à la majorité des deux tiers suffrages exprimes  
レシ更ニ別電第三六号第四条ノ部ノ一句ヲ加へ第II項ノ Article 3 及 Article 2 (但シ古代羅馬数字) トハ des 1926

ヲ削除シ新第四条トス

尚右新規定ニ依リ明十六日午前ノ総会ニ於テ選議ヲ行フヘク第四条第一項ノ選舉順序ハ本日ノ幹部会ニ於テ先ツ九理事ヲ選舉シタル上更ニ三種ノ任期ヲ与フルコトニ決シタリ英、仏、独、伊、白、西、米ヘ郵報セリ

六四 九月十六日 在ジユネーヴ會議全權ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

## 非常任理事選舉ノ結果報告ノ件

第三七号

（九月十七日接受）

往電第三五号ニ閲シ

十六日午前選舉ノ結果左ノ通り

一、先ツ九理事ノ選舉ヲ行フ投票數四九「ローニヒヤ」四六、波蘭四五、智四三、「サルバドル」四一、白耳義四一、羅馬尼四一、和蘭三七、支那二九ヲ得当選ス更ニ九國田ヲ決スルタメ決選投票ヲ行ナヒ智恵古當選ス  
二、右ノ内波蘭、智利、羅馬尼三年任期ニ「ローニヒヤ」

寿府ニ於ケル波蘭問題ヲ遲延セシムトシ社会党紙ハ独逸ノ加入ハ連盟ノ普遍性及基礎問題ノ発展ヲ意味シ平和及軍縮ヲ確保スヘク漸次歐州ヲ脅威スル亞米利加極東ニ対抗スル仮想提携ハ全歐洲ノ幸福ナリト論シタルモ一般ニ波蘭ノ再選舉權ニ付キ半常任席ノ獲得ニ際シ独逸ノ排波運動ヲ危惧セリ  
一、波蘭ノ半常任理事ニ選舉セラルルヤ各党紙ハ之レ波國要求ノ最小限度ノモノナリ之ニ反シ独逸ハ将来波國ノ利害關係ヲ有スル歐州事項ニ付勢力ヲ振フヘク波蘭ハ自己並ニ歐州全体ノ安全ノ為ニ常任理事席ヲ獲得セサル可カラストナシ社会党紙ハ之ヲ反駁シ Zaleski ベ仏英ノ援助ノ下ニ波國ノ要求スヘキ最善ヲ為シタリ元ヨリ波國ノ欲スル處ハ常任席獲得ナルモ之レ将来ノ政策ニ属スト論ス